

取得ストスヘシ第三者ヲ受取人トスルハ彼ニ利益ヲ與フル意ナリ而シテ利益ハ自己ノ知ラサル間ニ取得スルモ可ナリ之ヲ欲セサルトキハ拋棄スルノミ既ニ運送ニ於テモ荷受人ヲシテ自己ノ意思ナクシテ運送上ノ權利ヲ取得セシメ殊ニ保險ニアリテモ損害保險ニ於テハ第三者ヲシテ當然保險契約ノ利益ヲ得セシムトセハ生命保險ニアリテモ此ノ如クスヘシ第三者ヲ被保險者ト爲スニ彼ノ承諾ヲ要ストスルニハ理アリ被保險者ハ生命ヲ危クセラル、處アレハナリ之ニ反シ受取人ハ利益ヲ享クルニ止マリ何等ノ損害ヲモ蒙ラス又危険ニモ接セサルヲ以テ彼ノ承諾ヲ要スル理由ナシトイヘリ我商法ノ新規定ハ此說ヲ採リ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ第三者ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受シ但保險契約者カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フトセリ(四二八ノ二)

或說ハ曰ク保險金受取人ハ當然請求權ヲ取得スト推定スヘシ凡テ第三者ノ爲メニスル契約ハ第三者ニ利益ヲ與フル主意ナルヲ以テ第三者ハ好ンテ之ヲ取得スルナラン故ニ取得ヲ推定スルハ多數ノ事實ニ協フ然レトモ常ニ之ヲ取得ストシ當然取得ストスルハ不可ナリ如何ニ利益ナリトモ強制取得セシムヘカラストイヘリ獨逸學者ハ獨逸民法(民三三〇)ノ適用ヨリシテ此ク論セリ

或說ハ曰ク保險金受取人ハ取得ノ意思ヲ表示スルマテハ請求權ヲ取得セス第三者ノ爲メニスル契約ハ第三者ハ承諾スルニ因リテ成立ストセサルヘカラスト少クトモ其契約ヨリ生スル利益ハ第三者之ヲ享受スル意思ヲ表示スルニ非サレハ享受セシムヘカラスト何人ニモ強テ義務ヲ負ハシムヘカラスト等シク何人ニモ強テ權利ヲ得セシムヘカラスト假ニ運送又ハ損害保險ニ此クスル必要アリトスルモ生命保險ニハ此ノ如クスル必要ナキヲ以テ一般ノ原則ニ依リ利益ノ享受ニハ其者ノ意思ヲ要ストスヘシトイヘリ我商法ノ舊規定ニハ之ニ關シテ特別ノ規定ヲ爲サ、ルヲ以テ民法ノ規定ニ從ヒ第三者タル保險金受取人ノ承諾ヲ要スト解スル者多カリキ(民五三七條)若シ權利ノ取得ニハ受取人ノ意思表示ヲ要ストスレハ受取人カ之ヲ表示セスシテ死亡シタルトキハ此請求權ハ生セス相續人カ取得ノ意思ヲ表示スルモ之ヲ得サラン

保險金受取人カ保險金ノ請求權ヲ取得シタル後ニ保險契約者之ヲ奪フコトヲ得ルヤ

本問ヲ換言スレハ受取人ノ得ル保險金請求權ノ取得ハ確定的ナルカ解除條件附ナルカヲ論スルニアリ或主義ハ常ニ之ヲ確定的ノモノトスヘシ然ラサレハ第三

者ヲ欺クモノナリトイヒ或主義ハ此ノ如キ權利ハ確定セシムヘキニ非ス何時ニテモ解除シ得ルモノトスヘシ一步ヲ進メテイフトキハ停止條件附トシ事故ノ發生ニ際シテ取得シ得ルモノトスヘシ恰モ遺言ニ因リテ權利ヲ取得スルニ等シクスヘシトイヘリ獨逸民法ヲ適用スルトキハ保險金受取人ハ保險契約ニ因リテ保險者ニ對シ直接ニ請求權ヲ取得スルコトヲ推定スルモ同時ニ保險契約者ハ何時ニテモ保險契約上ノ權利ヲ處分スルコトヲ得トスルヲ以テ此際受取人ノ得ル請求權ハ確立的ニアラス或見方ニ依ルトキハ受取人ノ取得スルモノハ權利ニ非スシテ希望ナリ之ヲ權利トシ確定的ノ權利ト爲スニハ保險契約者ヲシテ後ノ處分權ヲ拋棄セシメサルヘカラス保險契約者カ契約ヲ爲シテ受取人ヲ定ムル際ニ自ラ拋棄スレハ最モ可ナルモ自ラ此際拋棄セサレハ受取人ヨリ拋棄ヲ乞フヘシトイヘリ(獨逸三三〇.三三一)

保險金受取人ノ得ル權利ハ確定的ニアラスシテ希望ノ如キモノニ過キストスル例トシテ保險契約者ノ有スル受取人ノ變更權ヲ舉クル外ニ契約者ノ解除權保險金減少權等ヲモ舉クルコトアリ即チ契約者ハ受取人ヲ指定シテ契約ヲ取結ヒタル後ニ受取人ノ同意ヲ得スシテ保險契約ヲ全然解除スルコトヲ得ヘク解除ハ受取人ニモ效力ヲ及ホスヲ以テ受取人ハ權利ナキニ至ル又契約者ハ受取人ノ同意ヲ得スシテ保險金額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ヘク當然ノ結果トシテ受取人ノ權利ヲ害ス尙契約者ノ故意過失保險料支拂ノ遲滯告知義務ノ違反等ヨリ受取人ニ不利益ヲ及ホシ遂ニハ權利ヲ有名無實ナラシムトイヘリ

保險金受取人ハ保險金請求權ヲ取得スルニ保險契約者カ保險ヲ解除シタルトキハ此請求權ハ消滅ス此場合ニ受取人ハ保險料ノ請求權ヲ取得スルヤ保險契約ニ於テ保險契約者ハ契約ヲ解除シ得ルコトアリ解除シタル場合ニ保險料ノ一部ノ返還ヲ請求シ得ルコトアリ受取人ハ此請求權ヲ取得シ得ルヤトイフ問題ナリエ
 一レンベルヒ等ハ受取人ハ之ヲ取得ストシ契約者カ受取人ヲ指定シタルハ其受取人ニ利益ヲ與フル爲メナリ彼ノ爲メニ自己ノ財産ヲ減少スルナリ而シテ成ヘク契約ヲ持續シテ彼ニ保險金ヲ得セシムヘキニ契約ヲ解除シテ之ヲ得サラシメタルヲ以テセメテハ保險料ノ返還請求權ヲ得セシメサルヘカラス契約者ノ隨意ニ爲ス保險契約ノ解除ハ受取人ニ與ヘタル保險金請求權ニ代フルニ保險料返還ノ請求權ヲ以テスルモノナリトイヘリ然レトモ多數者ハ之ニ反對シ受取人ニハ保險料返還ノ請求權ヲ與ヘス保險契約ニテ受取人ヲ指定スルコトニ因リテ受取

人ニ保險金ノ請求權ヲ與フルナリ他ニ何モノヲモ與フルコトナシ而シテ保險金請求權ハ後ノ契約解除ニ因リテ消滅ニ歸スルカ他ノ事由ニ因リテ實行シ得サルニ至ルモ之ニテ終ハリ此權利ノ性質上受取人ハ何モノヲモ有セス夫ニテ萬事終結スルナリ故ニ法律ノ規定又ハ當事者ノ特約ヲ以テ此場合ニ保險料請求權ヲ與フルニ非サル以上ハ此請求權ヲ生スルコトナシ若シ受取人ニシテ保險契約者ノ相續人ナルトキハ契約者ノ有スル返還請求權ヲ相續ニ因リテ取得スルモ彼ト此トハ別事ナリトイヘリ

保險金受取人ハ保險契約ニ因リテ直接ニ保險者ニ對スル保險金請求權ヲ取得ス而シテ保險契約者ノ有スル權利ヲ相續ニ因リテ取得スルニ非ス故ニ受取人ハ相續權ヲ拋棄スルモ此請求權ヲ行使シ得ヘシ但シ相續權ヲ拋棄シテ相續人タラサル者ト爲ル結果トシテ受取人タル資格ヲ失フトキハ之ニ伴ヒテ請求權ヲ失フモ相續權ヲ拋棄スルモ尙受取人トシテ存スル場合ナレハ此請求權ヲ有スルモノトス而シテ此權利ハ直接ニ取得シ相續ニ因リテ傳來取得スルニ非サルヲ以テ相續ニ關スル法規ノ適用ナシ相續財産ノ分割相續法規等ノ規定ノ適用ナキナリ同一ノ理由ニ因リ遺贈ニ關スル法規ノ適用モナシ又此取得原因ハ贈與ニアラス贈

與タルニハ贈與者カ自己ノ財産ヲ割キテ之ヲ相手方ニ移轉セシムルコトヲ要スルニ此場合ニハ保險契約者ハ自己ノ有スル請求權ヲ受取人ニ贈與スルニ非ス又自己ノ得タル金額ヲ移轉スルニ非ス保險者ヨリシテ金錢ヲ得セシムルナリ而シテ保險者ニアリテハ契約ノ相手方ヨリ報酬ヲ得テ金錢ヲ移轉スルヲ以テ決シテ無償行爲タル贈與ヲ爲スニ非ス契約者カ受取人ノ爲メニ保險料ヲ支拂フハ實質上其金額ヲ贈與スルニ等シキモ法律ノ解釋トシテ之ヲ贈與トイフヲ得ス其贈與ト同一ナル點ハ自己ノ財産ヲ減少シテ他人ニ或金額ヲ取得セシムル點ニアリ其異ナル所ハ之ヲ受クル他人ハ契約ノ相手方タラサルニアリ尙贈與ト異ナルハ贈與ハ當事者間ノ合意ニシテ直接ニ意思ノ合致ヲ要スルニ此場合ニハ受取人ハ何人トモ合意スルヲ要セサルニアリ若シ權利ノ取得ニハ受取人ノ意思表示ヲ要シ此意思表示ハ保險契約者カ此權利ヲ與ヘントスル意思ニ對スルモノニシテ兩者ノ間ニ合意アリトスレハ此點ニ於テ贈與ト區別ナキモ少クトモ合意ノ體様ニ於テ異ナレリ尙保險ノ場合ニ受取人カ表示スル意思表示ハ保險者ニ對シテ爲スモノニシテ單獨行爲ナリトイフハ通説ナリ

此點ニ關シ大阪地方裁判所ニ左ノ如キ判決アリタリ一部ハ同意スルモ他部ニハ

反對ス

相續財産トハ被相續人カ死亡ノ當時被相續人ノ有スル財産ニ關スル權利義務ヲ指稱スルモノニシテ保險金ハ被保險者タル被相續人カ死亡スルトキハ相續人ハ保險契約ニ基キ保險金受取人タル資格ニ於テ確定的ニ之ヲ支拂フヘキ權利ヲ承繼スヘキモノニ非サルカ故ニ保險金支拂ノ請求權ハ相續財産ニ非スシテ相續人ノ固有財産タルコト勿論ナリ

相續人(原告)ハ被相續人ノ債務ニ付キテハ其遺産相續ニ依リ得タル財産ノ限度ニ於テ辨濟ヲ爲スノ責アルニ止マリ其固有ノ財産タル保險金ヨリ之ヲ辨濟スルノ責ナキコトハ民法ノ明定スル所又遺産相續ヲ拋棄シタル者別ノ原告モ亦自己固有ノ財産ナル同保險ヲ以テ被相續人ノ債務ヲ辨濟スルノ責務ナキハ民法相續拋棄ノ規定ニ鑑ミ一點ノ疑ナキ所ナリ

此點マテ賛成スル所ナリ

被告(明治生命保險株式會社)ハ原告カ遺産相續ヲ拋棄シタル以上ハ保險契約ノ所謂保險金受取人タル相續人ト云フヲ得サルカ故ニ保險金受取ノ權利ナキモノト主張スレトモ同契約ノ相續人トハ契約ノ當時相續人タルヘキ地位ニアル

モノヲ意味シ爾後相續ヲ拋棄シタルモノト否トヲ問ハサルモノト解スヘキカ故ニ同原告カ遺産相續ヲ拋棄シタルトテ本件保險金ニ付キ之ヲ受取ルヘキ權利ヲ失フモノト云フヲ得ス(四四年大地)

此點ニハ反對ナリ親族主義ノ下ニテ保險契約者カ被保險者ノ相續人ヲ保險金受取人トシタルハ相續人ナルカ故ニ受取人トシタルナリ決シテ契約ノ當時相續人タレハ足り契約後ニ相續人タル地位ヲ失フモ可トスル主意ニ非ス被相續人ノ死亡後ニ相續ヲ拋棄スルモ受取人タルコトヲ繼續シ得トノ解釋ハ或ハ立チ得ント之トテモ十分ナラス況ンヤ彼ノ生前ニ相續關係ヲ絶チ而モ尙保險金受取人タルコトヲ繼續ストイフヲ得ス今ヤ親族主義ヲ改メテ同意主義ト爲シタルヲ以テ議論ニ變動ヲ生スルモ而モ同意主義ノ下ニアリテハ若シ被保險者カ保險金受取人カ自己又ハ或人ノ相續人ナルカ故ニ同意シタルモノトセハ其者ハ相續人タルヘキ地位ヲ失フトキハ保險契約ハ消滅スルカ解除セラルヘク假ニ然ラストスルモ其者ハ保險金受取人タルコトヲ繼續シ得ストノ議論ヲ生セン

保險契約ニ於テ當事者カ第三者ヲ保險金受取人ト定メタルトキハ其第三者ハ當然保險金請求權ヲ取得ス而シテ受取人カ一旦之ヲ取得スルトキハ契約者ハ受取

人ヲ變更スルコトヲ得ス保險契約者ニ隨意變更權ナキコト第四二八條第一項但書及ヒ第二項ノ解釋ヨリシテ明カナリ然ラハ保險金受取人カ死亡シタルトキハ如何此請求權ハ相續人ニ移轉スルカ通常ノ權利トスレハ權利者ノ死亡ニ因リテ權利ハ相續人ニ移轉スルハ當然ナルモ保險ニハ通常ト異ナル所アルヲ以テ法律ニ特別ノ規定ヲ設ケ保險金受取人カ死亡シタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金受取人ヲ定ムルコトヲ得若シ契約者カ之ヲ定メスシテ死亡シタルトキハ保險金受取人ノ相續人ヲ受取人トストシタリ(四二八條ノ三至當ノコトナリ法律ハ保險金受取人ノ指定ヲ專ラ保險契約者ノ隨意撰定ニ委シタリトスレハ其受取人カ死亡シタル場合ニ契約者ヲシテ更ニ受取人ヲ撰定セシムヘキハ當然ナリ
 商法ノ新規定ニハ保險金受取人ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受ストシタルヲ以テ最早議論ナキモ舊規定ノ下ニハ議論アリテ受取人カ既ニ請求權ヲ取得スル意思ヲ表示シ其權利ヲ取得シタル後ニハ尙其死亡ノ際ニ契約者ハ他ノ受取人ヲ指定スルコトヲ得ルヤ或ハ此場合ニハ最早他ニ受取人ヲ指定スルコト能ハスシテ請求權ハ死者ノ相續人ニ歸スヘキカノ議論アリキ商法ニ詳細ノ規定ナキヲ以テ民法ヨリ論シ民法ニ於テ第三者カ契約上ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示スルトキハ

契約者ハ最早之ヲ取消シ得サル規定ヲ適用シ此場合ニハ最早他ノ受取人ヲ指定スルヲ得ストイフ者ト民法ニ此規定アルモ商法ニ受取人カ死亡シタルトキハ契約者ハ更ニ受取人ヲ指定スルコトヲ得トノ特別規定ヲ設ケ而シテ其死亡カ利益享受ノ意思表示ノ前タルト後タルトヲ問ハサルヲ以テ契約者ハ常ニ受取人ヲ指定シ得ルナリトイフ者アリキ
 保險契約者ハ受取人ノ死亡ノ場合ニ更ニ受取人ヲ指定スルコトヲ得ルニ之ヲ指定セシテ其代リニ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルカ舊規定ニハ之ヲ定メタルモ新規定ニハ之ヲ定メス故ニ保險契約者ハ此拂戻ヲ請求スルコトヲ得サルナリ
 曾テ述ヘタル如ク保險契約者ト被保險者トハ同一人ナルコト多ク獨逸ニテハ往々フエルジツフエルテノ一語ニテ二者ヲ示ス程ナリ舊規定ノ下ニアリテハ此場合ニ保險契約者カ受取人ヲ指定セシテ死亡シタルトキハ自己カ受取人ト爲ルヘク自己カ死亡セルヲ以テ相續人カ受取人ト爲ルヘキモノトス尙此場合ノ相續人ハ契約者ノ權利ヲ承繼シ更ニ受取人ヲ指定スルコトヲ得レハ積立金ノ拂戻ヲモ請求スルコトヲ得ルナリ之ニ關シテ下セル大審院ノ判決アリ(三八年七月)

商法第四二八條第四項ニハ「保險契約者カ前項ノ權利ヲ行ハスシテ死亡シタルトキハ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキモノトス」トアルカ故ニ一見保險契約者ト被保險者ト別人ナル場合ノミニ關スル規定ナルヤノ疑ヲ容ルヘキ餘地ナキニ非サレトモ單ニ被保險者トアリテ何等ノ制限ヲ加ヘタル所ナキニヨリテ之ヲ見レハ同項ノ規定ハ被保險者カ保險契約者ト同人ナル場合ト別人ナルニ場合トニ拘ハラヌ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキモノト解スヘキ因リ右何レノ場合ニモ適用セラルヘキモノト爲スヲ以テ正當ナリトス尤モ上告人ハ此ノ如ク解釋スルトキハ死亡者ヲ以テ權利ノ主體ト爲スカ如キ結果ヲ生スト論スレトモ同項ハ保險者カ保險金額ヲ受取ルヘキモノヲ定メヌ又被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲモ請求セスシテ死亡シタル場合ニ保險金額ヲ受取ルヘキモノ、誰レタルコトヲ定メタル規定ニシテ保險契約者ノ死亡後ニ至リ始メテ被保險者ヲシテ保險金額ヲ受取ルヘキ者タラシムルニアラヌ其死亡前ヨリ之ヲ受取ルヘキ者タリトセルモノハ前説明ノ如ク解釋スルモ上告所論ノ如キ結果ヲ生スルコトナシ又

上告人ハ商法第四二八條第四項カ保險契約者ト被保險ト同人ナル場合ニ適用

セラルヘキモノトセハ既ニ死亡シタル保險契約者即チ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トスルナリ然ルニ被保險者タル資格ハ保險者其人ノ一身ニ專屬スルモノニシテ他人ノ繼承シ得ヘキ性質ノモノニアラサレハ相續人ニ於テ其權利ヲ繼承シ保險金額ヲ受取ルコトヲ得ヘキアラスト論スレトモ被保險者ノ有スル保險金ヲ受取ル權利ハ其一身ニ專屬スルモノニアラサルカ故ニ被保險者カ死亡スルトキハ相續人ニ於テ之ヲ繼承スルハ多言ヲ要セスシテ明カナリ

之ヲ要スルニ商法第四二八條第四項ハ保險契約者ト被保險者ト同人ナル場合ニモ適用スヘキ規定ナリ

生命保險契約ノ效力

生命保險契約ノ效力トシテ保險者及ヒ保險契約者ニ特殊ノ義務ヲ生ス保險者ノ義務左ノ如シ

一 保險金額支拂ノ義務

保險者ハ生死ニ關スル事項ノ生スル場合ニ保險金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ其拂方法ニ關シテハ特別ノ規定ナキヲ以テ契約ニテ定メタル者ニ契約ニテ定メ

タル方法ニ從ヒテ支拂ヘハ可ナリ契約ニ何等ノ定モナキトキハ商法商慣習法及ヒ民法ノ原則ニ從ヒテ支拂フヘク商慣習ハ漸々確定セントスル傾向アリ保險者ハ左ノ場合ニ於テハ例外トシテ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス(四三一)

- 一 被保險者カ自殺決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ
- 二 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ 但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ル、コトヲ得ス

三 保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

此外損害保險ノ準用トシテ被保險者カ變亂ニ因リテ死傷シタルトキ保險者ハ保險金額ヲ支拂フヲ要セス
此等ノ例外ノ或モノハ公益上保險金額ヲ支拂ハシメサルヲ可トスルヨリ出テ或モノハ保險者ノ通常豫想セサル事變ナルヨリ出ツ而シテ後者ハ公益ニ關セサルヲ以テ當事者ヲシテ特約ニテ其支拂ノ責ニ任スルコトヲ得セシム
保險金受取人カ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタル場合ニ金額ヲ支拂フヘカラサルハ勿論ナリトシ被保險者カ自殺犯罪又ハ死刑ニ因リテ死亡シタルトキハ保險金

受取人ニ之ヲ與フル特約ハ有效ナル乎自殺ニ關シテハ有效トスルニ殆ント一致スルモ犯罪ト死刑トニ關シテハ議論アリ無効ト解スル者ハ商法ニハ變亂ニ因ル死傷ノ場合ニハ特約ニ依ルニ非サレハ保險金額ヲ支拂ハストシナカラ自殺犯罪又ハ死刑ニ因ル死亡ニ關シテハ保險者ハ金額ヲ支拂フ責ニ任セスト云フニ止マルヲ以テ比較解釋上此場合ニハ特約ヲ許サスト云ヒ反對說ハ此場合ニモ特約ヲ許サルハ保險金ノ拂戻ヲ爲サシムル點ヨリシテ明カナリト云ヘリ
尙自殺ニ關シテ詳説スヘシ專ラ死亡保險ニ關シテイフナリ
被保險者カ疾病ニ因リテ死亡シタルトキハ保險金額ヲ支拂フモ自殺ニ因リテ死亡シタルトキハ之ヲ支拂ハサルコト法文上明カナリ若シ自殺ハ瘋癲病ノ結果ナルトキハ如何曾テ米國ノ或裁判官ハ自殺スル者ハ悉ク精神病者ナリ自殺其モノハ既ニ病的ナリトイヒシモ此論法ハ我商法ノ解釋ニ適用スルヲ得ス之ヲ適用スルトキハ法律ニ被保險者カ自殺スル場合ニハ保險金額ヲ支拂フヲ要セストスル規定ハ無意味ト爲レハナリ或米國ノ裁判官ハ保險金ヲ詐得センカ爲メニ自殺スル場合ニハ保險金ヲ給付セス發狂ニテ自殺スル場合ニハ之ヲ給付ストイヘリ我國法ノ解釋トシテハ發狂ニ因ル自殺ノ場合ニモ保險金額ヲ給付スルヲ要セス法

律ニハ廣ク自殺ノ場合ニハ給付セストシ自殺ノ原因ヲ問ハサレハナリ然レトモ
 特約ニテ發狂ノ場合ニハ之ヲ給付ストスルモ可ナラン其他ノ原因ニテ自殺スル
 場合ニモ之ヲ給付ストノ契約モ有效ナリ然レトモ保險金ヲ取得センカ爲メニ自
 殺スル場合ニハ特約ニテモ之ヲ許サスト解スヘキナリ
 保險金ヲ得ンカ爲メニ殊更ニ自殺スル者アリヤ否ヤハ稍吾人ノ疑問トスル所ナ
 ルモ米國ノ統計表ハ其存在ヲ證明セリ保險者カ凡テノ自殺ノ場合ニ保險金額ヲ
 支拂フトシタル際ニ支拂ヒタル數ト保險金取得ノ目的ニテ自殺スル場合ニハ之
 ヲ支拂ハストシタル際ニ支拂ヒタル數トハ異ナレリ然ラハ其差額ハ保險金取得
 ノ目的ニテ自殺シタルモノニシテ此自殺ハ想像シ得ヘシ不治ノ病ニカ、リテ自
 ラモ苦ミ家族ニモ迷惑ヲ掛クル際早ク自殺シテ自ラハ此世ノ苦痛ヲ免カレ家族
 ヲシテ金額ヲ得テ業ヲ建テシムルコトハアリ得ルナリ然レトモ此ノ如キ場合ニ
 保險金ヲ支拂ハシムルハ公益上不可ナルヲ以テ此場合ニモ支拂フ特約ハ無効ト
 スヘシ

米國ニテハ自殺ノ場合ニモ保險金額ヲ支拂フヘシトノ判決下リシヲ以テ保險者
 ハ自衛ノ爲メニ特約ヲシ本會社ハ自殺ノ場合ニハ一切保險金ヲ支拂ハサルヘシ
 ト約シタルコトアリ或會社ハ保險契約三年內ニ自殺スル場合ニハ支拂ハサルヘ
 シトシ保險金取得ノ目的ヲ以テ保險ヲ取結ヒ而シテ直チニ自殺シテ之ヲ得ント
 スルヲ防キタリ之ニテ自殺防止ノ目的ノ大部分ヲ達シタリ他ノ會社ニテハ二年
 內ニ自殺スル場合ニハ支拂ハサルヘシトシ更ニ他ノ者ハ一年トシ遂ニハ如何ナ
 ル自殺ノ場合ニハ支拂フトシ募集競争ノ結果遂ニ此ノ如ク爲リタルモノトス
 我商法ハ自殺ノ場合ニハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セストスルヲ以テ保險者ハ此
 場合ノ責任ヲ免カル、爲メニ特約ヲ爲スヲ要セス然レトモ自殺ニ非スシテ而モ
 自ラ死所ニ近ク行爲ヲ爲シテ死亡シタル場合ニハ之ヲ支拂ハサルヘカラスルヲ
 以テ此場合ノ責ヲ免カレント欲セハ特約ヲ爲サ、ルヘカラス戰ニ趣ク場合流
 行病地ニ行ク場合極地ニ旅行スル場合等ナリ
 米國ニハ特約ニテ責ヲ免カル、約款中ニ種々ノモノアリ或保險者カ免責約款中
 ニ「被保險者カ任意ニ不必要ノ危險ヲ冒シタル爲メ死亡シタル場合ニハ保險金ヲ
 支拂フ責ニ任セス」ト記載シタル際六十六才ノ老人カ傘ヲ抱ヘテ六哩ノ速力ニテ
 進行中ノ汽車ニ飛乗損シテ死亡シタル場合ニ裁判所ハ保險者ニ支拂責任ナシト
 判決シタルコトアリ左ニ示サン

本件ニ於ケル問題ハ被保險者ニ過アリシヤ否ヤニアラスシテ被保險者カ保險契約ニ包含セル危險ヲ冒シタリヤ否ヤノ點ニ存ス免責約款ニ於ケル「任意ニ不必要ナル危險ヲ冒ス」トイヘルハ謹慎ナル人カ相當ノ注意ヲ用ユレハ避ケ得ヘキ程ノ明白ナル危險ニ故意ニ必要ナクシテ冒ス意ト解釋スヘキモノトス而シテ此約款ハ其豫想シタル状態ニ於テ即チ被保險者ヲ普通ノ謹慎ナル人ノ避ケタルヘキ或行爲ヲ任意ニ爲シタル場合ニハ常ニ適用ヲ見ルヘキモノニシテ當事者ノ意思ニ基ク反對ノ解釋ヲ許ササルモノト爲サ、ルヘカラス

進行中ノ汽車ニ飛乗ラントスル企ハ常ニ危險ナリ況ンヤ本件ノ被保險者ノ如キ老人カ傘ヲ抱ヘテ六哩ノ速力ヲ以テ進行中ノ汽車ニ飛乗ラントスル企ノ如キハ普通ノ謹慎ナル人カ爲サ、ルヘキ程度ノ明白ナル危險ナリ此ノ如キ危險ハ約款中ニ豫想シタル危險ト認ムヘキハ勿論ナリ老人ノ意思カ其汽車ハ停車場ニテ停車スヘシト考ヘタリシ事實ハ原告ノ請求ヲ有力ナラシムルモノニアラス若シ此ノ如ク信シテ飛乗リタリトセハ彼ハ僅カニ數秒後ニハ全ク停車スヘキヲ豫期シツ、進行中ノ汽車ニ飛乗ラント企テタルモノニシテ明白ナル危險ニツキ無用ノ臆測ヲ逞クシタルモノナリ若シ又停車セサルヘシト考ヘタリ

トセハ一層大ナル危險ヲ故意ニ冒シタルモノト謂ハサルヘカラス何レニスルモ被保險者ニハ「任意ニ不要ナル危險ヲ冒ス」トイヘル行爲アリ其行爲カ熟考ノ違ナキ偶然ノ衝動ニ出テタリトスルモ任意タルニ妨ナシ蓋シ彼ハ其爲シタル所ノ事ヲ爲サント欲スル意思ヲ有シタルモノニシテ約款ノ文言ハ豫メ靜意シタル行爲ト十分ニ形作ラレタル意思ヨリ發シタル衝動的行爲トノ間ニ區別ヲ認メサレハナリ又其危險ハ被保險者カ其瞬間ニ於テ十分ニ之ヲ了解シ且判斷シ得サリシ爲メニ明白ナル危險ニ非ストイフ能ハス何者彼ハ危險ヲ覺知シ得タリシナリ少クトモ普通ノ謹慎カ要求スル所ノ相當ナル注意ヲ其行爲ニ加ヘシナラハ之ヲ覺知シ且了解シ得タルヘケレハナリ

死亡保險ニ於テハ保險金受取人カ保險金ヲ請求シ得ル時ノ初メハ被保險者死亡ノ時ナリ然ラハ死亡ノ時ヲ以テ請求ノ期限トシ其時ヨリシテ保險者ヲ遲滞ニ付スヘキカトイフニ保險ノ性質及ヒ保險者ノ債務履行ノ性質ヨリシテ被保險者ヨリ之ヲ請求セシメ其請求シタル時ヲ以テ期限ノ到來トシ之ヨリ保險者ヲ遲滞ニ附セシムルヲ可トス即チ保險金請求權ハ無期限ノ權利トシ之ニ對スル保險金支拂ノ債務ヲモ無期限ノ債務トスルナリ之ニ關スル東京地方裁判所ノ判決左ノ如

シ(四一年六月東地)

被保險者守屋物四郎ハ明治四十年六月一日死亡シタルコトハ保險者ノ明カニ
 爭ハサル所ニシテ之ヲ爭ハントスル意思顯ハレサルヲ以テ保險契約ニ基キ保
 險者ハ保險金受取人ニ其保險金ノ支拂ヲ爲スヘキ義務アルヤ論ヲ俟タス
 然レトモ本件保險金支拂ノ義務ハ其支拂ニ付キ期限ノ定ナキ債務ナレハ債務
 者ニ於テ履行ノ請求ヲ受ケタルトキヨリ遲滞ノ責ニ任スヘキモノニシテ訴ヲ
 以テ履行ノ請求ヲ爲シタルトキハ訴狀ノ債務者ハ送達セラレタルトキ即チ本
 件ニ於テハ明治四十年九月二十日ヨリ債務者ニ遲滞ノ責ヲ生スルヲ以テ保險
 金受取人カ保險者ノ保險金ヲ支拂ハサル事由ニ基ク損害賠償ノ請求ハ須ク此
 日ヨリ爲スヘキモノトス

保險債權ノ讓渡

生命保險ニ於ケル保險金請求權ハ讓渡物ナリ商法ニハ保險契約ニ因リテ生シタ
 ル權利ノ讓渡ニハ被保險者ノ同意アルコトヲ要ストシ法文ニハ廣ク保險契約ニ
 因リテ生シタル權利トイヒ即チ保險者ニ生シタル保險料請求權其他ノ諸權利及
 ヒ保險契約者ニ生シタル保險金請求權其他ノ權利及ヒ保險契約ニ因リ第三者ニ

生シタル諸權利ヲモ包含スルカ如キモ前後ノ規定ノ關係ヨリ主トシテ保險契約
 者側ニ生シ而モ專ラ保險金請求權ニ關スルモノト見ラル此解釋ノ當否ハ別トシ
 茲ニハ保險金請求權ノミニ關シテ説明スヘシ

保險金請求權ノ讓渡問題ハ保險契約者カ自己ノ生命ヲ保險ニ附スル場合ト他人
 ノ生命ヲ保險ニ附スル場合トヲ問ハス又他人ノ生命ヲ保險ニ附スル場合ニ同意
 主義ヲ探ルト親族主義ヲ探ルト將タ又利益主義ヲ探ルトヲ問ハス又第三者ヲ保
 險金受取人トスル場合ト自己又ハ被保險者ヲ受取人トスル場合トヲ問ハスシテ
 起ル問題ナリ獨逸其他ノ諸國ニモ議論アリテ一ハ債權ノ自由讓渡ヲ論シ又一ハ
 生命保險ノ本質公益等ノ點ヨリ制限的讓渡ヲ主張ス

保險金請求權ハ讓渡シ得ルモノナルヤ否ヤノ問題ニ關シ何人カ讓渡人ナルカニ
 付キ疑アリ讓渡人ハ保險契約者ナリトイフ者ハ此請求權ハ條件附又ハ期限附ノ
 モノニシテ其成就ニ依リテ保險金受取人ノ權利ト爲ルナリ條件ノ成就セサル以
 前ハ保險契約者ノ權利ニシテ契約者ハ保險證券ヲ所有シ之ヲ讓渡スルモノトス
 而シテ保險契約者カ之ヲ讓渡シタルトキハ之ニ因リテ受取人ハ何等ノ權利ヲモ
 有セサルコト、爲ルトイヘリ讓渡人ハ保險金受取人ナリトイフ者ハ此請求權ハ

條件附又ハ期限附ノモノナレトモ條件ハ權利ノ行使ニ關スルモノナリ少クトモ解除條件ナリ何レニスルモ受取人ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受シ請求權ヲ所有シ自ラ之ヲ讓渡スナリトイヘリ先決問題ニハ雙方トモニ理由アルモ茲ニハ受取人ノ權利トシテ讓渡問題ヲ説明スルコトニ進行セン兩説アリ

保險金請求權ハ不讓渡物ナリトイフ説 生命保險ヨリ生スル保險金ノ請求權ハ或身分ヲ有スル者ニ專屬スヘキ權利ナリ保險契約者ハ自己ノ子孫ノ爲メヲ慮カリテ契約シタルヨリ生スル權利ナリ故ニ必ス子孫ニ其惠ヲ及ホスヘク決シテ讓渡セシムヘカラス恰モ華族ノ世襲財産ノ讓渡シ得サルト同質ナリ保險金受取人ノ範圍ヲ擴張シテ被保險者ノ親族トスルモ同シク親族ナル身分ニ專屬セシメ讓渡シ得サルコトニ等シ權利ノ性質上讓渡シ得サル積極的理由アル外之ヲ讓渡スヘカラサル消極的ノ理由アリ即チ之ヲ讓渡セシムルトキハ子孫ハ結局父祖ノ保險契約ノ惠ニ浴セサルノミナラス讓受人タル受取人ハ愛情等ノ關係モナキヲ以テ被保險者ヲ殺シテ保險金ヲ得ントスルニ至ル虞アルナリ之ヲ一般ニ通スル理由トシ我商法ノ解釋トシテ不讓渡物ナリトイフハ我商法ニハ保險契約者ヲシテ保險金受取人ヲ指定セシメ死亡シタル際ニハ更ニ他ノ受取人ヲ指定セシメ若シ

指定セサルトキハ保險金受取人ノ相續人ヲ以テ受取人トスルトシ(四二八條ノ三)至ル所ニ受取人ヲ限定セルニ依リテ之ヲ知ルヘシ若シ讓渡物トスル主意ナレハ豈ニ此ノ如ク嚴密ナル規定ヲ爲スヲ要センヤ或ハ商法ニ「保險契約ニ因リテ生シタル權利ノ讓渡ニハ被保險者ノ同意アルコトヲ要ストシ讓渡スコトヲ得トスルカ故ニ讓渡物ナリトイフモ這ハ或特別ノ場合ヲ示シタルモノニシテ却テ原則ノ不讓渡物ナルコトヲ明示シタルモノナリ然ルヲ單ニ保險證券ノ流通ヲ盛ンニセント欲シ或ハ外國ニテ之ヲ流通スルモノアルヲ見テ權利ノ性質ヲ誤解シ我商法ノ解釋ヲ誤マルハ不當ナリトイヘリ論者ノ多クハ保險金請求權ハ質權ノ目的ト爲リ得サルモノ差押フヘカラサルモノトイヘリ

保險金請求權ハ讓渡物ナリトイフ説 保險金請求權ハ讓渡物ナリ此請求權ハ債權ナリ債權ハ一般ニ讓渡物ナル如ク此權利モ亦然リ決シテ身分權又ハ專屬權ニ非ス其成立ノ際ニハ被保險者ノ同意ヲ要スルカ或ハ受取人ヲ限定スル要アルモ一旦成立シタル後ハ普通ノ債權ナリ故ニ受取人ハ隨意ニ處分シ得ヘシ受取人カ利益享受ノ意思ヲ表示スル前ニアリテハ或ハ讓渡シ得サランモ一旦此意思ヲ表示スルトキハ受取人ノ權利確定シ通常ノ權利ト爲ルコト明カナリ否一步ヲ進メ

受取人ハ利益享受ノ意思ヲ表示セサルモ當然利益ヲ享受シ得ルヲ以テ契約後ハ直チニ之ヲ讓渡シ得ルナリ之ヲ不讓渡物トスルハ受取人ヲ保護スル主意ナリトイフモ然ラス受取人ノ權利ハ受取人ノ自由處分ニ委スルコト却テ其保護ト爲ル假ニ保護ノ有無ハ何レニアリトスルモ或債權ハ受取人ノ債權ナリトスルトキハ特ニ之ヲ禁セサル以上ハ讓渡物トイハサルヘカラス此債權ハ我商法ノ解釋トシテモ讓渡物ナリ法律ニ讓渡ヲ禁スル規定ヲ設ケス反對論者ハ商法ニ保險金受取人カ死亡シタルトキハ保險契約者ハ更ニ受取人ヲ指定スルコトヲ得トスル規定ハ此權利ヲ不讓渡物トスルモノナリトイヘトモ契約者ノ指定權ハ受取人カ利益享受ノ意思ヲ表示セサル前ニ存スルノミニシテ其以後ニハ存セス故ニ少クトモ利益享受ノ意思表示後ノ請求權ニ關シテ此論ハ適用セサルナリ尙我商法ニハ「保險契約ニ因リテ生シタル權利ノ讓渡ニハ被保險者ノ同意アルコトヲ要ス」トイヘリ即チ讓渡スコトヲ得トシテ其讓渡物ナルコトヲ明規シタルナリ被保險者ノ同意ヲ要ストシタルモ开ハ讓渡權ノ行使ニ條件ヲ附シタルニ止マリ權利ノ性質ヲ不讓渡物トシタルニ非ストイヘリ獨逸ノレビスハ讓渡論者中有名ナリ又外國ニテハ保險證券ノ讓渡ハ法律上及ヒ實際上漸々寛大ナル情況ナリ此論者ノ多ク

ハ保險金請求權ハ質權ノ目的ト爲リ得ルモノ差押ヘ得ルモノトイヒ而シテ我商法ノ解釋トシテ「權利ノ讓渡ニ被保險者ノ同意アルコトヲ要ス」トノ文言アルカ爲メニ質權差押權ノ行使ニ關シテハ如何ニ付キ争フ爲セリ
兩說ノ批評ハ省キ我商法ニハ保險金請求權ノ讓渡ニハ被保險者ノ同意アルコトヲ要ストスルヲ以テ同意アレハ讓渡シ得ルコト明了ナリ
相續ニ關シテハ如何保險金受取人ノ相續人ハ保險債權ヲ相續スルコトヲ得ルヤ保險債權ハ相續スルコトヲ得然レトモ何人カ相續シ得ルカニ關シ説分カレ親族主義ヲ採ル者ハ之ヲ被保險者ノ親族ニ限ラントセリ曰ク保險金請求權ハ被保險者ノ親族ニ限り讓受ケ得ルモノナルヲ以テ彼ノ親族ニ限り相續スルコトヲ得ヘク他ノ者ハ相續スルヲ得ス若シ親族以外ノ者モ相續ヲ爲シ得ト假定スルトキハ被保險者ノ相續人タリトモ親族以外ノ者ハ之ヲ相續スルコトヲ得ス況ンヤ保險金受取人ノ相續人ニ於テオヤ唯保險金受取人ハ被保險者ノ親族ニシテ保險金受取人ノ相續人ハ被保險者ノ親族タルヲ通常トスルヲ以テ實際ノ結果保險金受取人ノ相續人ハ之ヲ相續シ得ルコト、爲ルノミトイヘリ他ノ者ハ曰ク此請求權モ一個ノ債權ナルヲ以テ請求權ヲ有スル受取人ノ相續人ハ相續ニ因リテ之ヲ取得

スルコトヲ得單ニ實際ニ於テ受取人ノ相續人ハ之ヲ取得スルコト、爲ルニ止マラス理論上之ヲ取得シ得ルナリ唯注意スヘキハ受取人ノ相續人カ保險契約者ノ指定ニ因リテ之ヲ取得スルトキハ直接ノ取得者トシテ相續財産ニ非ス相續ニ因リテ取得スルトキハ相續財産ト爲リ相續税法及ヒ相續財産分割規定ノ適用ヲ受ケ其點ニ於テ大ナル差異ヲ生スルコトニアリ我商法ハ保險金受取人カ死亡シタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金受取人ヲ指定スルコトヲ得契約者之ヲ指定セサルトキハ被保險者ノ相續人ヲ保險金受取人トストノ意ヲ示セリ

保險債權ノ質入

保險金請求權ハ質權ノ目的ト爲リ得ルカ否カハ讓渡說不讓渡說ノ何レヲトルカニ依リテ解決ヲ異ニスル點多キハ前述ノ如シ尙他人保險ニ關シ親族主義ヲ採ル者ノ中ニモ議論分カル此請求權ハ廣ク質權ノ目的ト爲ルコトヲ得ストイフ者曰ク質權ノ目的ト爲ルモノハ質權者ノ有ニ歸シ得ヘキ物ナラサルヘカラス然ルニ此請求權ハ廣ク一般人ノ所有ニ歸シ得サルヲ以テ廣ク質權ノ目的ト爲ルヲ得ス唯之ヲ讓受ケ得ル親族ヲ債權者トスル場合ニノミ質權ノ目的ト爲リ得ルニ止マルトイヘリ之ニ反對スル者曰ク質權ノ目的物ハ必スシモ之ヲ所有シ得ル者ニ質

入スルニ必セス質權者ハ之ヲ競賣シテ其賣得金ヨリ辨濟ヲ得ルニ止マルヲ以テ何人モ保險金請求權ヲ擔保ニ取ルコトヲ得ヘク競賣ニ當リテ之ヲ親族ニ賣却スレハ可ナルノミ保險業法施行規則(八條十三條)ニ保險者カ保險證券ヲ擔保トシテ貸附ヲ許スハ何人モ保險金請求權ヲ質取スルコトヲ認ムル證據ナリトイヘリ保險ニ固有ノ問題ナルヨリモ寧ロ質權ニ固有ノ問題ニシテ其ノ先決問題ノ如何ニ依リテ解決スヘキヲ以テ茲ニ深ク論セス差押強制執行等ニ關シテイフモ亦然リ本問ニ關シテハ民法三四三、三六二、三六七、三六八民事訴訟法六一三條等ヲ參照スヘシ

保險金請求權ノ讓渡質入等ニ關シテハ種々ノ學說ヲ生シ又制限ノ有無ヲ云々スルハ此請求權カ保險金請求權トシテ特殊ノ性質ヲ有スル間ノ事ナリ既ニ事故カ發生シテ請求權ノ實行シ得ルニ至ルトキハ普通ノ債權ト爲リ普通ノ債權ト等シク讓渡スコトヲ得讓渡ノ制限ハ畢竟被保險者ヲ殺ス等ノ虞アルヲ恐ル、ニ被保險者カ死亡スルトキハ最早此虞ナク制限ノ理由ハ消滅ストイフナリ大審院ハ此主意ヲ示セリ曰ク(四一年六月)

商法第四二八條第二項ノ規定ハ生命保險契約ニ定メタル生死ノ條件成就若ク

ハ期限到來以前ニ係ル權利ノ讓渡ヲ制限シタルモノニシテ其條件既ニ成就シ又ハ期限既ニ到來シタル場合ニ於テハ之ヲ適用スヘキ限ニアラス蓋シ同條ニ於テ保險契約ニ因リテ生シタル權利ノ讓渡ヲ制限シタル所以ハ其權利カ被保險者ノ生死ニ繫ル場合ニ於テ其生命ノ安危ヲ顧慮スルノ必要ヲ認メタルカ爲メニ外ナラス然ルニ保險契約ニ定メタル生死ノ條件成就シ又ハ期限到來シタル場合ニ於テハ其契約ニ因リテ生シタル權利ハ被保險者ノ生命ニ對スル安危ノ關係既ニ全ク去リテ普通ノ債權ト毫モ異ナルコトナキニ至ルモノナレハ之カ讓渡ニ付テモ同條ノ規定ニ依リ制限ヲ加ヘタルモノト解スヘカラス

本件ニ於テハ保險者ト生命保險契約ヲ爲シタル被保險者ハ既ニ死亡シタルニ因リ其相續人カ單純ニ保險者ヨリ保險金ヲ受取ルヘキ債權ヲ有スル場合ナルヲ以テ金錢ヲ受取ルヘキ普通ノ債權ト異ナルコトナク何人ト雖モ之ヲ讓受クルコトヲ得ルモノニシテ商法第四二八條第二項ノ制限ヲ受クルモノニアラス從テ斯ノ如キ債權ハ轉付命令ニ因リ被保險者ノ親族以外ノ者ニ之ヲ移轉スルコトヲ妨ケサルナリ

獨逸ニ於テ夫ハ妻ノ爲メニ附シタル保險金ノ請求權ヲ質入シタル場合ニ帝國裁

判所ハ左ノ如キ判決ヲ下シタリ(一九〇四年七月)

夫カ其死亡ノ時ニ至ルマテ妻ノ爲メニセル保險金ヲ質入スル權利アルヤ否ヤハ別トシテ妻カ夫ノ死後質入ヲ通知セルハ事實ナリ

保險契約ニヨリ利益ヲ受クルノ人カ其質入ヲ知リタル後ニ之ヲ通知スルトキハ此レ其實入行爲ノ正當ナルコトヲ承諾スルモノニシテ民法第一二八〇條ノ通知トシテ有效ナリ

保險者ノ求債權

損害保險ニ於テハ保險者ハ求債權ヲ有スルコト明カナリ法文ニ「損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シテ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第三者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス(四一六)トスレハナリ之ヲ代位ニ因ル求償トス即チ間接ノ求償權ナリ此外ニ直接求償權アリトシ保險者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ保險金額ヲ支拂ハサルヘカラサルニ至リ夫レ丈損害ヲ蒙ムリタルヲ以テ自己ノ直接ノ被害者トシテ損害賠償ノ請求權ヲ有ストイフ者アリ其如何ニヨリテ請求シ得ル金額ニ差ヲ生スルコト及ヒ此說ノ可否等ハ既ニ損害保險ノ所ニテ述ヘタリ生

命保險ニアリテハ如何

生命保險ニハ右ノ如キ代位訴權ノ規定ナキヲ以テ我商法ノ解釋トシテ生命保險ノ保險者ノ此權利ナキコト明カナリ立法論トシテハ如何レビスハ代位求償權ヲ與フヘシトイヒ其他ニモ稀ニハ此ノ如ク唱フル者アリ曰ク此點ニ於テハ生命保險ト損害保險ノ間ニ差ナシ保險者カ保險金受取人ニ保險金額ヲ支拂フトキハ保險金受取人ハ最早其額ニ關シテ第三者ニ請求シ得サルヘク之ヲ爲サシムルハ同一ノ事ニ關シテ二重ニ金額ヲ得サシムルコト、爲ル而シテ他方ニアリテハ第三者ハ保險ニ關セル者ヲ害シタル一事ヲ以テ損害賠償ノ責ヲ免カル、ヲ得ス故ニ此請求權ハ保險者ヲシテ承繼セシムヘシト

保險者ニ代位求償權ヲ與フヘカヲトスル者曰ク保險金受取人即チ被害者ノ父母妻子等カ加害者ニ對シテ有スル損害賠償請求權ハ慰藉ノ爲メニ生スルモノニシテ權利ノ性質上代位シ得ラル、モノニ非ス曰ク生命保險ニアリテハ保險者ハ定額ノ填補ヲ約スルモノニシテ被保險ノ蒙ムリタル損害ノ填補ヲ目的トスルニアラス損害ヲ填補セサルモノナルヲ以テ求償權ヲ代位スルニ由ナシ曰ク生命又ハ身體ヲ害セラレタルトキハ其損害額ハ無限ナルヲ以テ被害者ハ加害者ニ何程ヲ

請求スルモ可ナリ然ルヲ保險者ヲシテ或額ニツキ代位セシムルトキハ自ら自己ノ請求シ得ル額ヲ減スルニ至ル假ニ此場合ニハ保險者ノ權利ヲ第二位ニ置キテ保險金受取人ト爭ハサラシムトスルモ而モ保險金受取人ハ加害者ハ何程ニテモ請求シ得ヘキモノナルヲ以テ一錢タリトモ他人ニ代位セシムヘカラス代位セシメサレハ被保險者ハ二重ハ取得スルニ至ラントイヘル損害保險ニ於ケル議論ハ此場合ニ適用ナシト此中ノ或理由ヲ主張スルモノト他ノ理由ヲ主張スルモノトアルナリ

保險者ハ加害者ニ對シテ直接ノ求償權ヲ有スルヤ否ヤニモ議論アリ而シテ損害保險ニアリテハ代位求償權アルコト明カナルヲ以テ直接ノ求償權ナクトモ利害ノ分カル所小ナレトモ生命保險ニアリテハ代位求償權ナキコトナルヲ以テ本問ヲ論スルニ自ラ熱情ヲ生ス而シテ本論ハ大ニ民法ノ不法行爲ノ規定ノ解釋ニ關スル所アリ

直接求償權アリトイフ者曰ク民法ニハ不法行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタル者ハ之ヲ賠償スル責ニ任ストシ而シテ本問ノ場合ニハ保險者ハ加害者ノ行爲アリタルカ故ニ保險金額ヲ支拂フニ至リシモノナルヲ以テ加害者ニ對シテ其賠償

ヲ請求スルヲ得死亡保險ニアリテハ加害者ノ行爲ナクトモ保險者ハ早晚保險金額ヲ支拂フヘキモノナルモ不法行爲ノ爲メニ其時期ヲ早メラレテ保險料ヲ多ク得サルニ至リ又早ク保險金ヲ支拂ヒテ利息ニ當ルモノヲ損失セリ其賠償計算ノ難易ハ別トシテ或損害ヲ蒙ムリタルヲ以テ其賠償ヲ請求スルコトヲ得法律ニハ他人ノ不法行爲ニ因リテ損害ヲ蒙ムリタル者ハ不法行爲者ニ對シテ其賠償ヲ請求スルコトヲ得トシ損害ノ直接タルト間接タルトヲ問ハス而シテ保險ノ性質ハ此適用ノ妨害ト爲ルコトナシ或ハ保險者ハ保險契約ノ結果トシテ之ヲ支拂フニ至リシモノニ加害者ノ行爲ニ因ルニ非ストイハンモ保險契約ノ結果トシテ支拂フハ其時機ニ支拂フニアラス其時機ニ支拂フハ加害者ノ行爲ニ因ルナリ加害者ノ行爲ノミ此早機支拂ノ原因ヲ爲スモノナリ假ニ保險契約ト不法行爲ノ二原因合シテ之ヲ支拂フニ至リシトスルモ而モ損害賠償ノ請求ヲ妨ケサルナリ直接求償權ナシトイフ者曰ク損害保險ニ於テモ保險者ニ求償權ヲ與フヘカラストスル理由ト同一ノ理由ニ依リ生命保險ノ場合ニモ之ヲ與フヘカラス又生命保險ノ場合ニ過失者ヲシテ被害者ノ親族ニ賠償ヲ爲サシムル外保險者ニ對シテモ之ヲ爲サシムルハ酷ナリト此理由ハ不十分ナリ

此求償權ノ問題ハ英法ノ下ニモ論セラル而シテ英法ハ最近マテハ加害者ニ利益ナル慣例ナリシモ最近ニ至リテ之ヲ變シ加害者ヲシテ十分ノ賠償ヲ支拂ハシムルニ至レリ一八四六年ノカメル法ハ他人ノ過失ニ因リテ死亡シタル者ノ遺族ヲシテ加害者ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得セシム而シテ同法ハ別ニ遺族カ保險金額ヲ得タル場合ニハ加害者ニ對シテ請求シ得ル金額中ヨリ其額ヲ加除スルヲ要ストモ記載セサレハ又陪審官カ賠償金額ヲ定ムル際此取得金ノ事ヲ商量スヘシトモ記載セサレトモ一般ノ慣習トシテ此額ヲ控除スル有様ナリ而シテ恰モ法律ニヨリ控除ヲ命セラレシモノ、如ク感シ居タリキ然レトモ此ノ如クスルトキハ遺族ノ受クヘキモノ大ニ減少シ而シテ現今ニアリテハ大多數ノ者カ生命保險ヲ約シアルヲ以テ加害者ノ責任ハ一般ニ輕減シタルモノ、如クナリ何レノ點ヨリ見テモ不可ナルヲ以テ一九〇八年八月ノ致死賠償法ヲ以テ此點ニ改正ヲ加ヘ被害者ノ生命カ保險ニ附セラル、場合ニアリテモ遺族ニハ十分ノ賠償金ヲ得セシムヘク此際判官又ハ陪審員カ賠償ノ金額ヲ定ムルニ當リ遺族カ保險者ヨリ取得スル金額ノ事ハ一切商量中ニ入ルヘカラスト規定シタリ

二 金額拂戻ノ義務

商法ニハ所々ニ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻スコトヲ要ストカ保險契約者ハ保險者ニ對シ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ト云ヒ保險者ハ或積立ヲ爲スコトヲ豫想セリ然レトモ商法自ラ保險者ハ如何ナルモノヲ積立ツヘキカヲ規定セサルヲ以テ若シ他ニ積立ヲ強要スル法令ナク而シテ保險者ハ契約ヲ以テモ之ヲ定メサルトキハ所謂積立金ナルモノヲ生セスシテ此等ノ規定ハ空文ト爲ルヘシ幸ニ保險業法ニ之ヲ規定シ又保險會社ノ定款若クハ約款ニ於テ積立金ニ關スル事項ヲ詳細ニ定ムルヲ常トス

保險者カ積立金ヲ拂戻スヘキ場合左ノ如シ(四三三、二項、四三一)終身生命保險ヲ例トシテ説明ス

- 一 被保險者ノ死亡カ變亂ニ因リテ生シ保險金額ヲ支拂ヲ要セサルトキ
- 二 保險契約者又ハ被保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルカ爲メニ保險者カ契約ヲ解除シタルトキ
- 三 保險契約者カ保險者ノ責任カ始マル前ニ保險ヲ解除シタルトキ

四 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル爲メ契約カ其效力ヲ失ヒタルトキ

五 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタル爲メ保險者カ契約ヲ解除シタルトキ

六 被保險者カ自殺犯罪又ハ死刑ニ因リテ死亡シタル等メ保險者カ保險金額ヲ支拂フヲ要セサリシトキ

七 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタル爲メ保險者カ保險金額ヲ支拂フヲ要セサリシトキ

保險者ノ積立金拂戻義務ハ二年ノ時効ニ因リテ消滅ス(四三二ノ二)

尙後ニ保險料ノ所ニテ説ク所ヲ見ルヘシ

一 保險料ノ支拂

保險契約者ノ最大ノ義務ナリ生命保險ニハ契約者ノ多キ割合ニ金額甚タ少ク又通常ハ定期ニ之ヲ支拂フヲ以テ「ホールシユルド」ナルカ「プリングシユルド」ナルカ等ノ論ヲ生スルモ我國ニハ特別ノ規定ヲ設ケサルヲ以テ商法及ヒ民法

ノ債務ノ辨濟ニ關スル規定ニ依リテ決スレハ可ナリ契約者ハ常ニ契約ニ定メタル保險料ヲ支拂フヘク當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ定メタル場合ニ其危險カ消滅シタルトキハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求シ得ルノミ損害保險ノ規定ノ準用ナリ(四〇〇)

保險料ヲ支拂フ者ハ保險契約者ナルモ保險カ他人ノ爲メニ契約セラレタル場合ニ契約者カ破産スルトキハ保險金受取人ハ自ラ保險料ヲ支拂フニ非サレハ保險債權ヲ維持スルヲ得ス亦損害保險ノ規定ノ準用ナリ(四〇六)損害保險ニ在リテハ被保險者カ權利者ナルカ故ニ保險料ヲ支拂フヘキモノトスルヲ生命保險ニテハ權利者ハ保險金受取人ナルヲ以テ準用ニ當リテ少シク變更ス
保險支拂ノ義務ハ一年ノ時効ニ因リテ消滅ス

尙詳説スヘシ保險料支拂ノ義務ノ持參債務ナルカ取立債務ナルカニ關シテハ外國ニハ法律ノ解釋トシテモ議論アリ又法律ノ規定ハ兎ニ角生命保險ノ保險料ニハ集金ノ慣習アルヲ以テ之ト法規ノ關係ニツキ議論アリレビスハ其保險法ニ於テ此點ニ關シテ研究セリ

外國ノ法律ノ規定トシテハ民法ニ債務辨濟ノ規定アルニ止マリ他ニ何等特別

ノ規定モナキトキハ保險料支拂ノ債務ニ關シテモ之ニ從フヘキナリ而シテ商法ニハ商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ履行ハ債權者ノ營業所ニ於テ爲スヲ要ストノ規定アリ(二七八)若シ保險料支拂ノ債務ニシテ商行爲ニ因リテ生シタル債務トイヒ得ヘクンハ之ニ從ヒテ債權者ノ營業所ニ於テ支拂ヲ爲スヘキナリ之ニ關シテハ讀ミテ字ノ如ク此ハ商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ規定ナルニ保險契約者カ保險ヲ取結フハ商行爲ニ非サルヲ以テ此適用ヲ受ケストイフ者ト商法ニハ當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付テハ商法ノ規定ヲ雙方ニ適用ストスルカ故ニ保險者ノ爲メニ商行爲タル保險ニ就テハ雙方ニ商法ノ規定ヲ適用スヘク從テ保險契約者ニモ此規定ヲ適用スヘシトイフ者トアリ又商行爲ニ因リテ生シタル債務トイフ中ニ債權ヲモ含ムヲ以テ此規定ノ適用アリトイフ者アリ此論ノ如何ニヨリテ保險料ハ債權者ノ營業所ニテ支拂フヘキカ民法ノ債務辨濟ノ規定ニ從ヒテ支拂フヘキカハ分カルナリ
法律ノ適用トシテハ上述ノ如シトシ保險界ニテ保險者ヨリ保險料ヲ集金シ廻ハル慣習アルトキハ如何單ニ商慣習法若クハ商慣習ニ止マルトキハ商法ノ下ニアリ故ニ若シ本問ニ關シテハ商法ノ適用アルモノトスレハ商法ノ規定ヲ適

用セラルヘク商法ハ適用セラレス民法ハ適用セラルヘキモノトスレハ商慣習法ハ民法ニ先ツテ以テ商慣習法ニ從ヒ保險者ヨリ集金セサルヘカラス即チ保險料債權ハ取立債權ト爲ルナリ何レノ場合ニアリテモ當事者間ニ集金ノ特約アルトキハ明示タルト默示タルトヲ問ハス之ニ從ヒ保險者ヨリ取立テ集金ヲ爲スヘキモノトス

生命保險ニハ保險料積立金ナルモノヨシ生ス若シ保險者ハ年々ノ危險ニ對スル報酬ヲ年々ニ受クルモノトセハ一年毎ニ保險ノ負擔ト報酬トハ相殺シテ何事ノ問題ヲ生セサルモ初年ノ死亡危險ハ小ナリ故ニ保險料ハ低クシテ可ナリ老年ノ死亡危險ハ大ナリ故ニ保險料ハ高クシテ可ナリ故ニ保險料ハ年々高メ行クヲ理論ニ適ストス然レトモ實際ニアリテハ年々ノ保險料ヲ變更シ行クハ不便ナリ殊ニ之ヲ高クシ行クハ感情上不可ナルヲ以テ平均シテ年々同額ノ保險料ヲ取得スルナリ之ニ因ルトキハ初メノ年々ニハ保險ニ對スル報酬以上ノモノヲ得ヘク是レ畢竟被保險者ノ爲メニ積立ツルモノナルヲ以テ若シ被保險者カ適法ノ原因ニ基キテ契約ヲ解除スルトキハ之ヲ被保險者ニ拂戻スハ至當ナリ我商法之ヲ規定ス(四三三條二項)

曾テハ保險者ハ其得タル保險料ヲ悉ク取得シ或意味ニ於テ不當ノ利益ヲ得之ヲ汲收ト稱シ來リシヨ米人ライト氏極力其不可ヲ主張シ非汲收ノ正義ヲ唱ヘ一八六一年其說ヲ貫通シ契約解除ノ際ニハ保險者ヲシテ被保險者ニ積立金ノ一部ヲ拂戻サシメタルナリ一部ニ止マリ全部ニ及ハサリシハ一ハ被保險者ノ解除ノ頻繁ナルヲ防カントスルニ出テ又此ノ如ク爲ルトキハ危險少キ者ハ去リ危險多キ者ノミ殘リ保險者ノ營業立チ行カサルヘシトノ考ヨリ來リ又一ハ保險者ヲシテ保險ノ取結保險料ノ積立拂戻等ニ關スル相當ノ報酬ヲ得セシメント欲シタルナリ然ルヲ我商法ニテハ廣ク保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立タル金額ヲ拂戻スコトヲ要ストセルヲ以テ一切ノモノヲ拂戻スヘキコト、爲ラン或ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額トイフ中ニハ自ラ制限アリテ費用勞力等ニ對スル報酬ヲ豫メ控除シアルヤモ知レサレトモ單ニ文字ノ上ヨリ見ルトキハ極メテ廣シ尙保險者ハ被保險者ノ爲メニ何程ヲ積立テサルヘカラスルカ如何ニ積立テサルヘカラサルカハ保險者ニヨリテモ異ナルヲ以テ被保險者ハ自ラ注意シ又保險契約者ハ契約取結ノ際宜シク調査スヘシ我國ニ於テハ保險者ハ必ス積立金ヲ拂戻スヘキモノトセリ獨逸ニテモ亦然ル

カ如シ然レトモ他ノ國ニアリテハ必スシモ現金ヲ以テ拂戻サス其積立金ヲ保險料ト見爾來或年限ハ最早保險料ヲ支拂ハスシテ保險契約ヲ存續セシムルコト、セリ此場合ニ發行スル保險證券ヲ保險料拂濟ノ保險證券トイフ畢竟ハ現金ヲ拂戻シテ保險ヲ全然消滅スル代ハリニ其金額ヲ保險料トシテ或期間保險ヲ繼續スルモノニシテ即チ保險契約ノ變更トモ稱スヘキモノナリ英國ハ此主義ナル如シ

我商法ニ規定スル積立金拂戻ノ場合ハ保險契約ノ失効又ハ解除ニ因リ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキナリ此外ニ米國ニハ尙拂戻ノ原因ヲ定ムルモノアリ即チ保險者カ被保險者ヨリ得タル保險料ニシテ被保險者ノ爲メニ積立ツルモノヲ定期ニ被保險者ニ拂戻スコトナリ保險契約ノ成立スルニ拘ハラヌ拂戻スモノナリ何ト爲レハ其金額ハ被保險者ノ爲メニ積立ツルモノナリ被保險者ノ貯金ノ如シ保險者ノ私スヘキモノニ非ストイフニアリ此拂戻ハ米國ニ行ハレタリシモ其期間ハ五年後ナリシヲ以テ前記ノライト氏之ニ反對シ年々拂戻ヲ爲スヘキコトヲ主張シ或會社ハ既ニ實行セリトイフハ五年ニテハ不可トスル理由ハ五年ノ年月ハ長キニ過キ被保險者ハ遂ニ忘却スルニ至

リ假ヒ記憶スルモ數理ノ計算困難ナルヲ以テ遂ニ乘セラルヘシ又五年ヲ一期トスル場合ニ或被保險者ハ其期間内ニ死亡スルトキハ死亡マテノ積立金ヲ得ルコト能ハス會社ニ取得セラル、カ生存セル被保險者ノ有ニ歸スルコト、爲リ何レニスルモ不公平ナリ故ニ年々ノ分ハ年々ニ拂戻スヘシ而シテ或被保險者カ死亡スルトキハ某年分ノ拂戻ハ之ヲ其遺族ニ爲スヘシトイフニアリ

二 死亡ノ通知

保險契約者ハ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知りタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス被保險者ニモ亦此義務アリ通知ハ大體ニ於テ損害保險ノ場合ニ同シ(四三二、四一三)

生命保險契約ノ消滅

生命保險契約ハ保險一般ノ消滅方法ニ因リテ消滅スル外保險ニ特別ナル解除及ヒ失効ニ因リテ消滅ス悉ク損害保險ノ規定ノ準用ナリ保險契約ヲ解除シ得ル場合左ノ如シ

- 一 保險契約者ハ保險者ノ責任ノ始マル前ニ契約ヲ解除スルコトヲ得
- 二 契約者ハ保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

三 保險者ハ保險契約者カ契約ノ當時告知義務ヲ盡サ、ルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

四 保險者ハ危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ著ルシク變更又ハ増加シタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

五 保險者ハ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得

我國ハ損害保險ニ關シテ解除ヲ認メ之ヲ生命保險ニ準用スルノミ(四〇五、四〇七、四三三)而シテ生命保險ニ特別ノ解除權ナシ然ルニ獨逸ノ新法ハ保險契約者カ一年分ノ保險料ヲ支拂ヒタルトキハ契約ヲ解除スルコトヲ得トシタリ此レ保險契約者ハ一旦保險ヲ爲シタルモ之ヲ繼續スルヲ欲セサルカ或ハ繼續セントスルモ保險料ヲ支拂ヒ得サルニ至ルコトアリ或ハ或者ヲ保險金受取人トシタルモ其者トノ關係カ變更シタル爲メニ保險ノ繼續ヲ欲セサルコトアリ此ノ如キ場合ニモ一旦締結シタル保險ハ到底解除スルコトヲ得ストスルトキハ初メヨリ其拘束ノ長大ナルヲ恐レテ保險契約ヲ取結ハサルニ至ラソフ以テ之ヲ避クル爲メ稍契約ノ一般原理ニ異ナル所アルモ生命保險ニ特殊ノ事情アリトシテ解除ヲ許シタル

ナリ一年ノ保險料ヲ支拂ハシムルトキハ保險契約者ハ猥リニ解除ヲ爲サ、ルヘク又保險者ニアリテモ保險取結ノ費用及ヒ勞力ニ對スル適當ノ報酬ヲ得ルヲ以テ可ナリ故ニ多クノ學者ハ獨逸ノ規定ヲ贊成シ新ラシキ法律ハ之ニ倣ハントスル傾向アリ

我商法ハ生命保險ニ於テモ損害保險ニ於ケルト等シク危險ノ著シキ變更増加ヲ以テ保險契約ノ失效又ハ解除ノ原因トセリ(四一〇、四一一、四三三)此點ハ損害保險ニアリテモ被保險者ニ危險ノ念ヲ生セシムルモノナリ況ンヤ生命保險ニ於テオヤ人ノ生命ハ常ニ或危險ニ遭遇シ其危險ハ常ニ變更増減スルモノナリ素ヨリ其變更増減カ著ルシキ場合ニアラサレハ契約ヲ失效解除セシメサルモ如何ナル程度ヲ以テ著ルシト爲スヘキカハ人ニ依リテ見ル所ヨ異ニシ神經家ナル被保險者ハ常ニ心配スルヲ以テ此點ヲ改メ當事者カ特約シタル變更又ハ増加ニ非サレハ契約ニ影響ヲ及ホサスト約スルコトアリ獨逸ノ新法ハ此主義ヲ採リ(獨一六四)當事者カ明カニ危險ノ増加ト約シタル危險事項ノ變更ニ非サレハ契約ニ影響ヲ及ホサストシタリ

生命保險ニ於ケル危險ノ著シキ増加ハ素ヨリ事實ノ問題ナリ飛行機ニ乘リテ飛

行スル如キハ現在ノ我國ニアリテハ其一例ナラン南洋探險ノ如キモ亦然ラン然ラハ被保險者カ一度飛行機ニ乗リタルノミニテ保險ハ直チニ其效力ヲ失フカ被保險者カ無事ニ降下シ其後最早決シテ飛乗セサルモ尙效力ヲ失フヤ曰ク現在ノ法律ト現在ノ飛行機ノ情態ヨリイフトキハ保險ハ效力ヲ失フトイハサルヘカラス保險ノ解除原因タル危險ノ増加ニハ被保險者ノ大危險情態カ永ク存續セサルヘカラスト言ハサレハナリ又火事場ニ近ツキテ見物スルカ如キモ或ハ此中ニ入ラン喧嘩ノ仲裁強盜トノ組討ノ如キモ亦然リ此ノ如ク爲ルトキハ保險契約ヲ取結ヒタル者ハ殆ト常ニ退嬰セサルヘカラサルヲ以テ遂ニ獨逸ノ如キ規定ヲ生シタルナリ

保險契約カ失效ニ因リテ消滅スル場合左ノ如シ

一 危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキ

二 保險契約者又ハ被保險者カ必要ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ保險契約カ其效力ヲ失ヒタルモノト看做スコトヲ得

人ノ身體ハ讓渡シ得サルモノナルヲ以テ損害保險ノ失效原因トシテ危險ハ被保

險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルカ爲メニ著シク變更又ハ増加シタルトキト云ヘルモノハ生命保險ニ準用セラレヌ之ニテ保險法ノ講義ハ終リタリ而シ尙一時間ヲ餘シタルヲ以テ保險ノ國營簡易保險保險等ノコトニ付キ時ノアル丈説明セン

保險ノ國營

保險ノ國營ニ關スル議論ハ多シ又其理由ヲ國家收入ノ點ヨリスルモノト被保險者ノ保護ノ點ヨリスルモノトアリ事實ニヨルニ初メハ國家收入ノ爲メナリキ其最初ノ重ナルモノヲ示サン

生命保險ヲ示サン

一五五四年和蘭ハ佛國ト戰フ費用ヲ得ル爲メ年金證券ヲ發行シタリ之ヲ國營保險ノ初メナリトイフ

一六九二年英國ハトンチン法ニテ保險ヲ實行シタリ

一七六五年英國ハ海軍擴張費ヲ得ル爲メ年金保險證券ヲ發行シタリ

一八六四年英國ハ郵便貯金局ヲシテ生命保險ヲ爲サシメタリ大藏大臣グラッドストーンノ採用シタルモノナリ英國ノ國立保險ニシテ國家收入ト労働者救濟ノ

二目的ヲ有スルモノ、初メナリ然レトモ民業ノ競争ニ遇ヒテ發達セス今僅ニ形體ヲ存スルモ氣息奄々タリ

一八八三年獨逸ハ強制ノ勞働者保險ヲ實施シタリビスマークノ採用シタルモノナリ詳細ハ後ニ讓ル

火災保險ヲ示サン

一六六八英國倫敦ニ市營火災保險ヲ生シタリ

一六七七年獨逸漢堡ニ公立火災保險金庫^{カッセル}ヲ生シタリ其後獨逸ノ諸洲諸市ニ公營ノ火災保險ヲ生シタルモ尤モ盛ナルハ普魯亞ナリ

雹霜保險ニハ一八八四年ニ巴威王國雹害保險ヲ生シタリ又家畜保險ヲ國營トシタルモノモアリ此等ハ主トシテ農業ニ關シ多クハ農業政策ニ注意セル獨逸ノ諸洲ニ生スルナリ

保險ノ國營ト私營トハ何レカ利アリヤ又此二者ヲ併行セシムルハ可ナルカ等ノ議論ハ寧ロ保險政策ニ屬シ法律書ニ論スル暇ナキヲ以テ單簡ニ兩者ノ主張ヲ茲ニ列示スヘシ國營ヲ主トシ私營ヲ客トシテ比較セン

一國營ナルトキハ保險料ハ安價ナリ國家ハ利益ヲ得ル意少ナシ而シテ國家ノ種

種ノ設備ヲ流用シ得ルヲ以テ一層經營ヲ省クコトヲ得ヘク從テ多クノ保險料ヲ得ルヲ要セス然ルニ私營ニアリテハ利益ヲ得ントシ又多クノ設備ヲ爲スヲ要スルヲ以テ保險料ヲ高クセサルヘカラス

私營論者ノ答 私營ニテモ多クノ設備ヲ要セス而シテ私營者ハ營業ノ概念ヨリ種々輕易ニ爲スヲ以テ多クノ費用ヲ要セス從來ノ事實ハ國營ノ保險料ノ安キコトヲ示サス

二國營保險ハ安全ナリ國家ハ破産スルコトナケレハナリ之ニ反シ私營保險ハ屢破産シ之カ爲メニ被保險者ハ大ナル損害ヲ蒙ルコトアリ

答 私營保險タリトモ監督ヲ嚴ニスレハ破産スルコトナシ又從來ハ保險ノ經營者不熟練ナルカ爲メ不幸ニシテ破産シタリシモ今ヤ保險經營ハ漸々發達シテ此患ナキニ至レリ尙幾分ノ危險ハアリトスルモ之ヲ全禁スルトキハ保險ヲ發達セシムルコト能ハス從來保險ノ發達シタリシハ保險業者カ營利其他ノ觀念ヨリ種々ニ盡瘁シタルニ由ル或ハ私營保險ノ監督ハ困難ナリトイハンモ適當ノ法規ヲ制定シ適當ノ官吏ヲ設クレハ十分ニ監督シ得ヘシ

三國營保險ハ何人ヲモ保險ス營利ヲ目的トセサルヲ以テ危險ヲ選擇セス老人病

者ヲモ保險スレハ老朽船ヲモ保險ス故ニ何人モ愁訴スルコトナシ然ルヲ私營保險ニアリテハ營利ヲ目的トスルヲ以テ危險ヲ選擇シ爲メニ保險ニ入り得サル者ヲ生ス

答 保險ニアリテハ危險ヲ選擇スルハ當然ナリ保險ハ危險ノ恒算又ハ必諒ニ基キテ經營スルモノナレハナリ國營保險ニアリテモ亦之ヲ基礎トセサルヘカラス而シテ老人病者老朽船等ヲ保護スルニハ自ラ別ニ途アリ之ト彼トヲ混同スヘカラス

之ヲ兩論者ノ理由ノ大體トシ尙國營論者ハ生命保險ニアリテハ國立病院アリ又戸籍簿アリテ疾病ヲ防止シ死亡ヲ確認シ得ル便アリ火災保險ニアリテハ警察ヲ有シテ消防ニ便アリ海上保險ニアリテハ衝突豫防法船舶検査規則等ヲ設ケテ船舶ノ損害ヲ豫防シ又損害發生後ノ額ヲ正確ニ調査スル便アリ等トイヒ私營論者ハ一々之ニ對シテ答ヘ此ノ如キコトハ保險業者モ爲シ得ルコト多シ又國營論者ハ之ヲ容易ナル如クイフモ之ヲ實行スルニハ多クノ官吏ヲ要シ又繁文縟禮ニ陷リテ實際ニ運用セラレス寧ロ私營ノ敏活ニシテ行ハレ易キニ如カストイヘリ要スルニ一ハ理論ニ於テ優リ一ハ實際ニ優ルナリ而シテ國情ニヨリ時代ニヨリ又

保險ノ種類ニヨリテ異ナリ一概ニイフヲ得ス又保險中ノ勞働者保險ニアリテハ今ヤ國營ヲ可トスルモノ多シ

又保險殊ニ勞働者ノ貧民保險ニアリテハ國營ヲ可トスルモノ多ク歐洲諸國ニハ之ヲ實行スルモノ多シ今英佛獨露伊ノ五大國ニ於ケル最近ノ事情ヲ示スヘシ悉ク法律ニ基キテ説明スルナリ

獨逸 獨逸ハ一八八三年以來ビスマルクノ政策トシテ國營保險ヲ實行シ爾來益發達シ世界ノ模範ト爲レリ種々ノ法律ヲ出シタルモ後ニ之ヲ統一シテ一九一一年ノ帝國保險法ヲ發布シタリ此法律ノ出來工合ニ付キテハ前ニ生命保險ノ種類ト題スル下ニ勞働保險ニ付キ證明セル所ヲ見ルヘシ

同法ハ千八百五條ヨリ成リ六編ニ分タル第一編總則トシテ中ニ保險官保險金負擔者及ヒ各種ノ保險ニ共通ノ規定ヲ設ク保險官ハ三階級ニ分ツ保險金負擔者ハ保險ニヨリテ異ナレリ例ハ疾病保險ニアリテハ疾病金庫傷害保險ニアリテハ同業組合癘疾保險ニアリテハ保險局ナリ共通規定ノ中ニハ保險債權ノ讓渡質入差押等ニ關スル規定ヲ入レタリ第二編ニハ疾病保險ヲ規定ス被保險者ノ範圍ヲ擴張シ疾病金庫ヲ強固ニシ其職員ノ位地ノ獨立ヲ保シ疾病金庫ト醫師ノ關係

殊ニ金庫カ豫メ醫師ト契約シテ被保險者ヲ治療スルコトニ關シテ規定シ尙從來ヨリモ多ク勞働者ヲ保護スルコトトシタリ第三編ニハ傷害保險ヲ規定ス被保險者ノ範圍ヲ擴張シタリ新ナル職業ノ勞働者ヲモ加ヘ又被保險者ノ制限ハ年收三千馬以下ナリシヲ五千馬以下ニ擴張シタリ尙多クノ傷害ヲモ加ヘ之ニ伴フ組織ノ擴張ヲモ規定シタリ第四編ハ癱疾保險及ヒ孤獨保險ヲ規定ス茲ニハ從來ノ如ク癱疾者年金老年年金ヲ規定シ又新ニ設ケタル寡婦年金鰥夫年金孤兒年金ヲ規定セリ最後ノ者ハ父母ノ死後十五才ニ滿タサル者ニ年金ヲ與フルナリ尙此等ノ保險ニ付キ保險契約者ハ隨意ニ多クノ保險料ヲ拂ヒテ多クノ保險金ヲ得ルコトヲ許セリ即チ任意増加ノ保險ナリ第五編ハ僅ニ四十四ヶ條ニシテ中ニ保險負擔者間ノ關係各種保險ノ關係等ヲ規定ス第六編ニハ手續ニ關スルコトヲ規定ス保險金ヲ確定スルコトニ關シテハ從來勞働者ニ參加ヲ許シ居リシヲ一層擴クシ異議ニ關スル手續ヲ設ケ爭ハ保險官ニテ之ヲ決シ三階級ノ保險官ニテ各第一審第二審及ヒ第三審スルコトトシタリ

序ニイフ此法律ヲ實行スルニ關シテハ大ニ費用ヲ増スヘシ一九〇七年ニハ七億餘馬ナリシモ將來ニハ十億馬ヲ要スヘシトイフ

英國 英國ニハ貧民救助法勞働者災害賠償法勞働者養老年金法職業紹介所法無職業者保護法等アリテ貧民勞働者等ヲ保護シ來リタルモ未タ勞働者ニ對スル一般保險ナク病者失業者等ニ對シテハ友誼組合フレンドシップ・ソサエティ又ハ共濟會トモ譯ス職工組合ワーカーズ・ユニオン等ノ民間專業ニ委シタリ而モ前述ノ貧民救助法勞働者養老年金法等ハ専ラ國家自ラ經營シ悉ク國費ヲ以テ支辨シ給與シ來リ國營ノモノハ全ク慈善主義ナリ所謂非醜出主義アンチ・パトリヤリズムナリシモ一九一二年國家保險法ナショナル・インシュランス・アクト通過シ國家カ保險ヲ經營シ而シテ勞働者等ヲシテモ保險料ノ一部ニ當ルヘキ金額ヲ拂込マシムルコト、シタリ即チ獨逸ト等シク醜出主義ヲトリタリ分チテ疾病保險癱疾ヲ含ム及ヒ失業保險トス凡テ三章八十七條ヨリ成リ通則疾病保險及ヒ失業保險トセルナリ

疾病保險ニ入ルモノヲ二分シテ強制加入者及ヒ任意加入者トシ前者ノ中ニハ年收百六十磅ニ達セサル勞働者ヲ入ル、ナリ但例外トシテ現役軍人官公吏教師其他之ニ入ラサル者モ多キモ原則ハ此ノ如キ勞働者ヲ入ルトスルナリ每週此ノ如キ勞働者ヲシテ四片シテ少給ヲ得ル勞働者又女ハ之ヨリ以下ナリヲ醜出セシメ每週儲主ヨリハ男女トモ一人ニ付キ常ニ三片ヲ出サシメ國家ヨリ職工一人ニツキ二片ヲ出スナリ後者ノ中ニハ自ラ職業ヲ營ミテ生計ヲ爲ス者五年以上強制保險ニ

加入シ居リシ者等アリトシ彼等ヲシテ釀出金ヲ出サシメ國家ヨリモ之ヲ出タスナリ備主ナキトキハ彼ハ釀出セサルハ勿論トシ備主アルモ最早彼ヨリ釀出スル必要ナキヲ以テ釀出セシメサルナリ此保險ニ入ルヨリ生スル利益ハ疾病ニ罹リタルトキ無償ニテ治療ヲ受ケ又或期間中無勞ニテ金錢ヲ受クルニアリ種々ノ利益ヲ規定シ時ニ應シテ其額ヲ定ム 治療利益 肺病利益 出産利益 不勞手當利益等アリ尙注意スヘキハ本法ハ英國内ニテ使用セラル、者ニ適用セラル、ニ止マラス (一)英國船ニテ使用セラル、者及ヒ (二)英國ニ住所若クハ本店ヲ有スル者ノ所有若クハ支配ノ下ニアル船ニ使用セラル、者ニモ適用アルナリ内外人トモ適用ス然レトモ外國人ナルトキハ之ニ與フル金錢ハ英國人ニ與フルモノヨリ稍少クス國庫ハ外國人ヲ補助セサレハナリ

英國ハ此國家保險法ヲ出タシ從來ノ友誼組合ノ如キ方法ニヨリ圓滿ニ之ヲ施行セントスルナリ蓋シ同組合ハ組合員各自ニ釀出スルモノナレハナリ掛金ノ方法トシテ職工ニハ一定ノ紙ニ印紙ヲ貼用シテ郵便局ニ拂込マシムルナリ工業備主及ヒ家事備主等ヲシテ其給金中ヨリ控除セシムルナリ 失業保險ニ入ルヘキ者ハ單ニ機械業及ヒ建築業ニ従事スル勞働者ニ限ルナリ他

ノ者ニハ未タ及ホサス暫ク位地ノ尤モ不安ナル此二業ニ限りタルナリ勞働者及ヒ備主ヲシテ各一週ニ二片半ヲ釀出セシメ國家ハ總費用ノ四分一ヲ補助ス失業ノ際ニハ十五週間ハ一週七志ヲ給與ス但同盟罷工又ハ工場閉鎖中ハ之ヲ給セストシ此制度ハ職業周旋所ヲ機關トシテ施行セントスルナリ

之ヲ英國ノ新國家保險法トシ本年本月十五日(四五年七月十五日)ヨリ實施セラレタリロイドジョージ氏ノ發案ニ罹ルモノモノニシテ賛成者多キモ又反對者ナキニシモアラス其重ナル點ハ強制ハ厭制ナリ自己ノ所得金ハ自己ノ隨意ニ使用シ得ルモノナラサルヘカラス然ルヲ保險掛金トシテ其一部ヲ控除スルハ勞働者ニ一種ノ刑罰ヲ科スルニ等シトノコト及ヒ勞働者等ヲシテ釀出ヲ爲サシムトスレハ其方法ヲ如何ニスヘキカ彼等ヲシテ自ラ釀出セシメントスルトキハ實行シ得ラレス彼等ハ決シテ正確ニ之ヲ納入スルコトナシ勢ヒ備主ヲシテ取立テシメサルヘカラス給料ヨリ先引キセシメサルヘカラス是レ備主ヲ租稅徵收者ト爲スナリ工場主ヲ徵稅者タラシムルハ尙可ナランモ家事的主婦ヲシテ僕婢ノ徵稅者タラシムルハ酷ナリ又國家一家ノ内事ニ立入りテ下婢ノ給金ヲモ審查スルカ如キ制度ハ社會制度トシテ宜シキモノニ非ストイフニアリ何レモ理由アルコトナ

リ然レトモ賛成者ハ先キノ自由黨ノ社會政策實行ノ第一策タル勞働者養老年金法タル英國式ノ非醜出主義ニ對シ本法ハ其第二案トシテ獨逸式ニ依リタル醜出主義ノ法ニシテ相待テ小民ノ祉福ヲ益スモノナリトイヘリ

露國 露國ノ國營保險法ハ一九〇五年ニ制定セラル英國ノ或制度ニ倣フ所アリトイハル其機關ハ議決機關タル中央ノ保險會議ト執行機關タル貯金管理局ナリ保險ノ種類ハ終身保險、養老保險、成育保險一才以上十五才未滿終身年金保險及ヒ遺族年金保險ナリ其中他國ニ類ナキモノハ成育保險及ヒ遺族保險ナリ凡テ官營保險ハ無診察保險ナリ故ニ或年齡ニ達シ或保險ニ入ル資格ヲ備フルトキハ必ス保險ニ入り得ルコト、シ國家ハ被保險者ヨリ保險契約ヲ強制セラル、結果ト爲ルナリ故ニ不健康者多ク來リ國家ハ損害ヲ蒙ルコト大ナリ幾分タリトモ之ヲ防止スル爲メニ保險契約ノ締結後一定期間保險金ノ支拂ヲ停止スルコトアレハ保險金額ヲ低減スルコトアリ保險料ノ安キハ人民保護ノ主意ナリ

佛國 佛國ハ一九一〇年養老年金保險法ヲ出シタリ之ニ入ルモノヲ強制加入者ト任意加入者ニ分チ前者ハ下級勞働者ニテ一年ノ賃銀收入三千法以下ノ者ナリ後者ハ三千法以上五千法以下ノモノナリ尙小企業者農夫小作人等モ後者ニ屬ス

何レモ被保險者カ六十五才ニ達スレハ年金ヲ得ルヲ原則トシ又永久的ノ癱疾ト爲ルモ之ヲ得ルナリ醜出金ハ強制保險ニアリテハ被保險者ハ年額九法(女子少年等ハ尙小ナリ)ヲ出シ傭主モ同額ヲ出シ國家ハ之ニ助成スルナリ任意保險ニアリテハ被保險者ハ年額九法以上ヲ出シ國家ハ之ヲ助成スルナリ傭主ハ何モノヲモ出サス唯小作人ノ場合ニハ地主ハ或部分ヲ出スナリ年金ハ六十法トシ之ヲ得ルニハ三十年掛金ヲ爲ササルヘカラス

伊太利 伊太利ノ國營保險ハ未タ案ナク其法律ト爲ルヤ否ヤハ確定セス而シテ同案ハ主トシテ國家ノ財政ヲ助クル爲メニ出テ伊土開戦後戰費ヲ欲スルヨリシテ一層其制定ヲ急ク情アリ

同案ハ極端ナル國營保險主義ヲ發揮セリ從來トテモ丁練及ニ一ジラノドニハ國營生命保險アリ又瑞西、諾威、巴威爾及ヒ索遜ニハ國營火災保險アルモ此等ハ同時ニ私營保險ヲ許シテ競争セルモ伊太利法案ハ絕對ニ之ヲ國營トシ私營ヲ嚴禁セントスルモノナリ國立保險廳ノ外ハ生命保險ノ申込ヲ受クルヲ得ス、伊太利ニ於テ本法ニ違反シテ締結シタル契約ハ無効トス、現在ノ生命保險會社ハ本法施行後新契約ヲ締結スルコトヲ得ストシタリ保險廳ニ關シテ規定シ保險廳ハ法人ト

シ獨立會計ヲ有ス、保險廳ノ經營ハ自主的トス、國庫ハ資金トシテ之ニ五百萬リラノ信用ヲ與ヘ利益金ニハ稅ヲ課セス郵便ハ無料トス、保險廳ノ吏員ハ文官任用令ニ依ラス雇傭契約ニ因リテ雇入ル等トシ尙保險料及ヒ保險金額ノ支拂ニ郵便局印紙局等ヲ用ユルコトヲ規定シタリ

絶對ノ國營主義ナルヲ以テ之ニ對シテ種々ノ異論ヲ生シ又辯護說ヲ生ス異論ニ曰ク會社ニ將來ノ保險ヲ禁スルハ資本ヲ沒收スルモノナリ社會主義ヲ行フナリ保險ノ國營ハ他ノ營業ヲモ國營トスル第一歩ト爲ルモノニシテ不可ナリ、保險ヲ國營トスルモ國家ハ收入ヲ増スコト能ハサルヘシ官吏ハ給料ヲ得ルモノニシテ營利會社ノ役員ノ如ク盡力セス被保險者ヲ募集スルコトモ有利ノ保險ヲ取結フコトモ集マレル保險料ヲ利用スルコトモ拙ナルヘシトイフ等ナリ之ニハ各自ニ相當ナル辯駁モアリテ今ヤ討論中ナリ

簡易保險(小額保險)

余ハ先キニ生命保險ノ性質ヲ説ク際小額保險ニ關シテ一言シタルモ足ラサルヲ以テ之ニテ補充セン小額保險トハ小額ノ保險金ヲ得ル保險ニシテ資力ナキ者ヲシテ之ヲ得セシムル爲メニ生スルモノナリ或點ニ於テ勞働保險ト一致スル所ア

リ、勞働者ナル無資力者カ小額ノ保險金ヲ得ル爲メニ保險ヲ取結フ點ニ於テハ小額保險ナリ即チ廣義ノ勞働保險ノ或モノハ、小額保險ナリ

勞働保險ニハ種々ノ意義アリ之ニ伴ヒテ特質ヲ異ニス若シ勞働保險ハ勞働者ノミノ保險トスルトキハ勞働者以外ノ者ハ之ニ浴シ得サルヲ以テ其他ノ者ノ爲メニ小額保險ヲ設クル必要アリ勞働者ノ外或種ノモノニ之ヲ擴張スルモ其以外ノ者ニハ小額保險ノ必要アリ勞働保險ハ強制保險ナリトスレハ小額保險ハ然ラス勞働保險ハ國營保險ナリトスレハ、小額保險ノ或モノハ之ニ入り他ノモノハ入ラス勞働保險ハ疾病傷痍等ノ保險ナリトスレハ、小額保險ハ然ラス尙保險料ノ負擔者保險料ノ支拂方法ニモ差アリ素ヨリ此二保險ニ關シ各國各時代ニ通スル共通ノ確的要素トスルモノ定マラサルヲ以テ正確ニ比較シ難キモ二者ハ決シテ全然同一ニアラサルハ明カナリ否大ニ根柢ヲ異ニスル點多キコト明ラカナリ今小額保險ノ特色ト爲ル點ヲ示セハ大凡左ノ如シ

小額保險ハ凡テノ人ヲシテ小額ノ保險料ヲ支拂ヒテ小額ノ保險金ヲ得セシムル爲メニ生ス勞働者タリトモ可ナリ其以外ノ者タリトモ可ナリ若シ勞働者ニシテ勞働保險ニ於テ十分ニ死亡保險年金保險等ノ利益ヲ受クトセハ、小額保險ニ入ル

要ナキモ而モ之ニ入りテ二重ノ利益ニ浴スルモ可ナリ勞働保險ニ入り得サル者ハ之ニ依ルノ外ナシ故ニ多クハ後者ノ爲メニ小額保險ヲ設クトイハル

小額保險ハ小額ノ保險金ヲ支拂フモノナリ何國ニアリテモ保險會社ハ一定ノ額ヨリ以下ノ保險ヲ約スルコトヲ好マス累多クシテ利益少ナケレハナリ從テ小資力者ハ保險ノ利益ヲ得ル能ハス從テ小額保險ハ彼等ヲモ被保險者タリ得セシメントシテ生ス從テ保險金ノ額ハ小ナラサルヘカラス大ナルトキハ其必要ナク又之ヲ大ニスルトキハ普通ノ保險會社トノ競争ヲ招クコトト爲ル然ラハ何程ヲ以テ小額トスヘキカハ國ニヨリ時代ニヨリ異ナルヘシ我國ノ普通ノ保險ニハ保險金額ノ最低額ヲ二百圓トシ之ヲ下ルモノハ拒ムヲ以テ或ハ二百圓以下ヲ以テ小額保險トスルヲ可トセンカ尙明治四十年以來ノ最近五ケ年ノ統計ニヨルトキハ平均ノ最低額ハ三百圓臺ヨリ六百圓臺ニ上ラントスルヲ以テ五百圓以下ヲ以テ小額保險トスヘシトノ論ヲモ生セリ

小額保險ノ保險料ハ拂込ノ度數ヲ多クス此保險ニ入ルモノハ小民ニシテ金錢ノ餘裕ナキ者ナリ故ニ一時ニ多額ノ保險料ヲ支拂ハシムヘカラス出來得ル限り度數ヲ多クシ日々又ハ毎週ノ所得ヨリ小許ヲ拂込ミ得セシメサルヘカラス稍貯金

ノ如クセサルヘカラス又之ヲ簡易ニシ且掛落シナカラシムル爲メニハ保險料ノ集金人ヲ作り取付債權トセサルヘカラス爲メニ保險者ニアリテ手數ト費用ヲ要スルハ己ムヲ得サルナリ

小額保險ハ無診察保險タルヘシ此保險ハ小民ヲ保護スル爲メニ生ス故ニ健康者ノミヲ採擇シ不健者ヲ拒否スルハ制定ノ主意ニ反ス假ニ小民保護主義トセスシテ經營者ノ營利ノ目的ヨリ出ツトスルモ無診察又ハ簡易ナル診察ニ止ムヘシ小民ハ診察ヲ欲セサルナリ又數多ノ者ニ一々詳細ナル診察ヲ爲ストキハ多額ノ費用ヲ要シ得ル所ヲ補フニ足ラサルヘシ故ニ大體ノ計算ニ基キ恒算ヲ基トシ一切診察セサルコトトシ而モ經營ノ損失ト爲ラサル保險料及ヒ保險金ヲ定ムヘシ診察セサルヲ以テ無診察保險トイヒ其取極メテ簡易ナルヲ以テ簡易保險トイフナリ

小額保險ノ經營ニ適當ノ者ハ國ナリ國營ハ理想上ノモノナリ上述ノ如ク小額保險ハ普通ノ保險者ノ煩ニシテ益ナシトシテ省ミサル金額以下ノ小額ニテ保險スルコトナルヲ以テ經營者ハ自ラ普通ノ保險會社外ノモノタラサルヘカラス而モ小許ノ保險料ヲ幾度ニモ拂込マシメ且保險者ヨリ集金スヘキヲ以テ尤モ之ニ馴

レタル者ナラサルヘカラス而モ之カ爲メニ費用ヲ惜ムヘカラス之ニ適スル者ハ國又ハ之ニ類スル團體タラサルヘカラス而モ國ヲ最良ノモノトス若シ夫レ無診察トシテ病者不健者ヲ問ハス保護スル主意ヨリシテモ其危險ヲ引受クトイフニ至リテハ到底之ヲ國營トセサルヘカラス營利ト小民保護トハ多クノ點ニ於テ相容レサルナリ

尙小額保險ハ多クハ死亡保險ナリ次テ養老保險ナリ小民ノ多ク感スルハ死亡ノ場合ニ於ケル金錢ナリ結婚學費等ノコトヲ省ミル暇ナシ又簡易診察トシ簡易ヲ主トスルヲ以テ計算若クハ恒算ノ困難ナル疾病傷痍等ノ保險ハ行ヒ難キナリ
 小額保險ノ性質ハ上述ノ如シトシ之ヨリ推ストキハ其經營者ハ國ヲ以テ最良ノモノトシ我國ニアリテハ郵便貯金局ヲシテ之ニ當ラシムルヲ尤モ適當トセンモ實際ハ必スシモ理想ノ如クナラサル點アリ從テ小額保險ヲ國營トスル國モアレハ私營ニ委スル國モアリ之ヲ併行セシムル國モアリ英國ノ如キハ夙ニ理想ニ基キテ之ヲ國營トシタルモ實際ニ頻行セス却テ併行ヲ許シタル私營ハ益隆盛ニ赴クカ如シ尙簡單ニ各國ニ於ケル狀況ヲ示スヘシ

英國 小額保險即チ簡易保險ハ英國ニ始マル英國ノブルーデンシャル會社カ一

八五四年ニ開始シタルハ世界ニ於ケル小額保險ノ初メナリ同會社ノ組織及ヒ經營方法トモニ世界ノ模範ト爲リ今ヤ英國ニテ之ヲ營ム者二十社アルモ全國ノ保險契約中ノ六割ハ同社ノ占ムル所ナリ一八六五年英國ハ國營ニテ之ヲ行ヒ郵便局ヲシテ之ニ當ラシメタルモ成績不良ニシテ一ケ年ノ契約高ハ僅カニ四百件ナリ而モ夫モ尙退減ノ傾向アリ不振ノ原因ハ勸誘ノ拙ナルト集金方法ノ不可ナルニアリトイハル

米國 米國ハ英國ニ倣ヒテ小額保險ヲ初メタルモ私營ハ大ニ盛大ト爲リ保險金ノ總額ハ遙カニ英國ノ上ニアリ

獨逸 獨逸ニハ勞働保險而モ強制ノ勞働保險夙ニ行ハルルモ其外ニ任意ノ小額保險アリテ益隆盛ニ赴カントセリ之ニヨリ獨逸ノ學者ハ勞働保險ト小額保險トハ相排斥スルモノニ非サルヲ論セリ私營ニシテ今ヤ簡易保險會社十五個アリ
 佛國 佛國ニテハ國家初メテ簡易保險ヲ行ヒタリ一八六八年英國ノ國營保險ヲ見テ之ヲ行ヒタルナリ而シテ民間ノ者ハ國營ヲ見テ之ヲ行ヒタリ國營ノモノハ非營利主義ニシテ保險料ヲモ低廉トシタルモ成功セス又私營ノモノニ至リテハ一層微々トシ僅カニ三個ノ會社アルノミ此レ經營ノ惡シキニ因ルカ抑モ又佛國

ニハ富度平均スルカ或ハ貧民少ナクシテ小額保険ノ必要ヲ感スル度淺キニヨルニヤ
全體ヨリイフトキハ小額保険ハ英米ニ盛ンニシテ大陸ニハ未タ然ラス而シテ民業ニ盛ンニシテ國營ニ然ラス理論ト實際ノ必スシモ一致セサル所ニシテ民營論者ノ據リテ民論ノ鐵壁トスル事實タリ

保險業法ノ改正

保險ニ關シテハ公法ト私法トアリテ相待チテ保險制度ヲ完カラシムルモノトシ我國ニテ保險公法ニ當ルモノハ保險業法ナリトイヘリ同法ハ商法中ノ保險ノ規定ニ相關聯スルヲ以テ後者ノ改正ニ伴ヒ改正セラルヘキナリ尙同時ニ三十三年實施以來ノ經驗ニ鑑ミテ改正シタル點ヨリ講義ノ初メノ時ニハ未タ改正セラレサリシヲ以テ今茲ニ其大略ヲ示サン
一 供託金命令 會社カ免許ヲ申請シタル場合ニ主務省ハ必要ト認ムルトキ相等ノ金額ヲ供託セシムル事ヲ會社解散後清算中ト雖モ尙供託ヲ命シ得ルコトトシタリ而シテ免許申請ノ場合ニ限リ認許ヲ得テ有價證券ヲ以テ供託金ニ代フルコトヲ得トシタリ(四條二、一三)

二 責任準備金ノ利用 免許ヲ申請セル場合ニ財産利用方法書類ヲ提出セシムル事トス從來提出シ居ラサルモノハ之ヲ提出スヘク本法施行後命令ヲ以テ定ムル事項ニ該當セサルモノハ之ニ該當スル如クスヘキコトトシタリ(九)

三 停止ト解散 主務省カ事業ノ繼續困難ナリト認メタル場合ニ事業ノ停止、會社財産ノ検査、財産ノ供託等監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得トス又會社カ免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ主務者ハ清算人ヲ選任ストシ又之ヲ解任ストシ現行法ニテハ此權限ヲ裁判所ニ附與シタルヲ主務省ニ移シタリ(一一一三)

四 包括移轉 會社ハ保險契約ノ全部ヲ包括シテ他ノ會社ニ移轉スルコトヲ得トシタリ事業ノ全部ヲ移轉スルモ一部ヲ移轉スルモ可ナリ解散後ト雖モ三ヶ月以内ナレハ包括移轉ノ決議ヲ爲スコトヲ得トシ之ニテ非常ニ實際ノ便益ヲ増シタリ然レトモ包括移轉ニハ左ノ條件ヲ要ス(二〇、四一、一一二等)
(イ) 責任準備金算出ノ基礎ヲ同クスル保險契約ナラサルヘカラス
(ロ) 移轉ハ株式會社ヨリ株式會社へ、相互會社ヨリ相互會社へ、合資會社ヨリ合資會社及ヒ合資會社ヨリ株式會社ニ爲スコトニ限ラル

ハ
104

五合併手續 會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル時ハ決議認可ノ日ヨリ二週間内ニ合併契約ノ要旨及ヒ會社ノ財産目的ヲ公告スルコトヲ要ストシタリ現行法ニ於テハ會社ハ合併ニ關シ株主ニ通知ヲ爲シ異議ノ申出ヲ催告スヘシトセルヲ煩ニ失ストシ此ノ如ク簡易ニ改メタルナリ但異議者カ保險契約者ノ十分一未滿保險總金額ノ十分一未滿ナルトキニ限ル(二〇)

保險法

畢

104
元

